

授 業 要 綱

2026 年度（令和 8 年度）

理学療法学科 夜間部

専門学校 社会医学技術学院

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	基礎力養成講座										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

ディプロマポリシーで掲げる理学療法士養成への円滑な導入を図るために、社医学での
学生生活上のマナー、スタディスキル、キャリア形成を学ぶこと。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

《行動目標(SBOs)》

- 1.本校が求める学生生活上のマナーを習得できる。
- 2.本校で求められるスタディスキルを習得できる。
- 3.本校での学生生活を楽しめる方法を習得できる
- 4.医療人としてのスキルを理解し、実践する事ができる。

《学生の留意点》

理学療法士養成教育の初年度の導入が円滑に進むために設定された科目です。学院のアドミッションポリシーを理解し、自分と他者を理解しながらこの科目を楽しんでください。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

ポートフォリオ60%、レポート40%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験から臨床現場に即した授業を展開します。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	長屋	オリエンテーション・委員会の役割	本コースの目的、目標、成績評価について、学習管理システム（Google Classroom）の使い方、学院の利用方法、学習方法、出欠席の届出、授業の飲食について
2	講義教室	長屋	社医学生の一員としてのルール	挨拶/礼、手洗い、名札着用、メールの書き方、時間管理、報連相など 図書の利用方法
3	講義教室	長屋	「自己紹介と他己紹介」 解剖学資料作成	「自己紹介」と「他己紹介」/解剖学資料作り/発表 ※次回ペン使用
4	講義教室	長屋	学習計画の作成	試験に向けての学習計画を立てられる
5	講義教室	長屋	グループワークの基本	グループワークでの役割分担や協力する力を身につける「医療現場におけるマナー」
6	講義教室	長屋	先輩と会話をしてみよう	定期試験の学習方法、文章の読み方、要約、「考える」とは
7	講義教室	長屋	国家試験対策1 解剖学・生理学基礎テスト	基礎テスト（今までの解剖学・生理学の授業の中から配分）を行い、国家試験、定期試験への準備をする10問のテストを実施し、間違えたものをグループで修正する
8	講義教室	長屋	国家試験対策2 ノート作成	国家試験の見方、ノートを実際に作成する。
9	講義教室	長屋	国家試験対策3 ノート作成2	国家試験の見方、ノートを実際に作成する。その2
10	講義教室	長屋	国家試験対策4 ノート作成3	国家試験の見方、ノートを実際に作成する。その3 ※提出
11	講義教室	長屋	テスト前の学習方法	テスト15分/答え合わせ
12	講義教室	長屋	医療現場におけるITリテラシー	AIの利用方法/レポート作成方法など、自分で考える事、上手に調べる事を学ぶ
13	講義教室	外部講師	キャリア教育①	「仕事をする」ということ
14	講義教室	外部講師	キャリア教育②	必修！ 基本の就活マナー講座：東京しごとセンター多摩
15	講義教室	長屋	ハラスメント/ コンプライアンス	ハラスメントとコンプライアンス

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	情報社会と情報リテラシー										
担当者氏名	村上 知也、江川 賢一、坂田 晋一										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

私たちの生活を取り巻く「情報社会」の現状を理解し、正しい情報収集の方法、統計学を用いた情報の吟味、情報セキュリティ、さらに情報を取り扱う上でのマナーについて理解すること。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

必要に応じて提示する。

《行動目標(SBOs)》

- 1)Google Classroomを利用できる。
- 2)現代社会での「情報」の意義を説明できる。
- 3)問題解決のための情報収集ができる。
- 4)統計学を用いて情報を吟味できる。
- 5)情報を取り扱う上でのセキュリティやマナーに配慮できる。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

各回の課題で評価する(100%)。

《学生の留意点》

情報社会の中で、医療分野へのデジタル技術の活用や進展が急速に拡大しています。本科目は、基本的な情報に関する知識から情報処理のための基本的統計学を習得し、専門分野へ応用することを目指した科目です。4回以降はオンデマンド型授業になります。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における中小企業診断士、スポーツ科学の研究者、理学療法士としての実務経験を授業内容に活かした科目としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	坂田	情報リテラシー①	Google Classroom等のサービスの使い方①(坂田)
2	講義教室	坂田	情報リテラシー②	Google Classroom等のサービスの使い方②(坂田)
3	講義教室	坂田	情報リテラシー③	Google Classroom等のサービスの使い方③(坂田)
4	オンデマンド	村上	情報力とは	情報力とは(村上)
5	オンデマンド	村上	数字を読む力～数字に騙されないために～	数字を読む力(村上)
6	オンデマンド	村上	今どきのIT①	AIの活用について～その他最近のデジタル活用(村上)
7	オンデマンド	村上	今どきのIT②	SNS,情報マナー,セキュリティ等について(村上)
8	オンデマンド	村上	情報収集と整理力	アナログとデジタルでの収集,フレームワーク(村上)
9	オンデマンド	村上	思考力	思考法の種類と実践(村上)
10	オンデマンド	江川	統計学①	医療統計の基礎(江川)
11	オンデマンド	江川	統計学②	情報の整理:データの種類(江川)
12	オンデマンド	江川	統計学③	グラフの活用:分布を調べる(江川)
13	オンデマンド	江川	統計学④	記述統計:特徴をを明らかにする(江川)
14	オンデマンド	江川	統計学⑤	推測統計:予測する(江川)
15	オンデマンド	江川	統計学⑥	検定と推定:データをよりよく理解する(江川)

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	バイオメカニクス										
担当者氏名	帯刀 隆之										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

理学療法学の基礎のため、現象としての身体運動をバイオメカニクスの観点から考察できるようにする。

（解剖学・生理学・運動学等の基礎医学的知識と関連させ、健康な人の心身の仕組みの説明に適用できるようにする）

《テキスト》

中村隆一他：『基礎運動学 第7版』、医歯薬出版、2025。

平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版、文光堂、2012。

《参考図書》

P.D.Andrew他訳：『筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版』、医歯薬出版、2018。

《行動目標(SBOs)》

1. てこの原理と生体への適用を説明できる
2. 力の作用のベクトル表現、運動現象のグラフ表現、姿勢の記述ができる
3. 身体重心の位置、求め方を説明できる
4. 床反力と圧中心、関節モーメントの作用を姿勢や動作を見て言える
5. 立ち上がり動作、歩行のバイオメカニクスを説明できる

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

期末試験（筆記）60%、授業毎の課題 40%

《学生の留意点》

ごく初歩的な物理が基盤となります。

理解にとまどうときは、即、疑問を質問してください。クラスメート同士でも教え合いながら、学習を継続するようにしてください。

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	帯刀	バイオメカニクスとは	コースオリエンテーション〔運動の観測・観察、力のベクトル表現_1〕
2	講義教室	〃	導入（用語）	骨と関節の運動、基本運動方向表現、運動の面と軸
3	実技教室	〃	姿勢の記述（観察）_1	基本運動方向表現の適用と応用（四肢六大関節、名称変化の一部を含む）
4	実技教室	〃	姿勢の記述（観察）_2	基本運動方向表現、姿勢・肢位・構え
5	講義教室	〃	運動を表わす	運動現象のグラフ表現とその理解
6	講義教室	〃	てこの原理_1	てこの原理、単関節における力の作用を考える、つり合いの式
7	講義教室	〃	てこの原理_2	てこの生体への応用、力のベクトル表現（ベクトルの合成と分解）
8	実技教室	〃	身体重心_1	身体重心をてこの原理から求める、重心の位置と変位
9	実技教室	〃	身体重心_2	身体重心の安定性
10	講義教室	〃	力の作用_1	作用と反作用、重力と抗力、床反力
11	講義教室	〃	力の作用_2	床反力と圧中心の理解、ベクトル表現
12	講義教室	〃	関節モーメント_1	モーメントとは回転力、身体運動は回転運動
13	講義教室	〃	関節モーメント_2	姿勢保持時の関節モーメント
14	実技教室	〃	立ち上がり動作_1	動作観察と分析〔身体重心の変位・動作の相分け・関節運動〕
15	講義教室	〃	立ち上がり動作_2	関節モーメント、身体重心の位置・変位

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	医療コミュニケーション論										
担当者氏名	佐々木 亮平、湯浅 英慈										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

ビジネス社会の基本ルールを学んだ上で、リハビリテーション専門職としてのコミュニケーション技法を身につける。

《テキスト》

資料を配布する

《参考図書》

特に指定しない

《行動目標(SBOs)》

1. ビジネス社会の基本ルールを説明できる。
2. 医療者として傾聴による問題解決の提案ができる。
3. 医療者として傾聴による共感的理解ができる。
4. 見学実習に向けた医療コミュニケーションが実演できる。

《学生の留意点》

医療人としてのマナーや、外部施設とのかかわりを持つうえでの留意点を学んでいきます。社会医学技術学院の学生としての自覚を持ち、適切な立ち振る舞いが実践できるような意識で臨んでください。ごく初歩的な物理が基盤となります。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

講義内演習 100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	湯浅	オリエンテーション コミュニケーションスキル	一般コミュニケーションと医療コミュニケーション
2	講義教室	湯浅	コミュニケーションスキル②	場面に合わせた自己紹介
3	講義教室	佐々木	コミュニケーションスキル③	社会人としてのコミュニケーションスキル（非対人）
4	講義教室	佐々木	コミュニケーションスキル④	ヘルスコミュニケーション
5	講義教室	佐々木	コミュニケーションスキル⑤	傾聴：話を聞けるか？ 聞く・聴く・訊く
6	講義教室	佐々木	コミュニケーションスキル⑥	傾聴：話を聞けるか？ 共感的技法
7	実技教室	湯浅	コミュニケーションスキル⑦	傾聴：問題を解決する提案ができるか？ ティーチング
8	実技教室	湯浅	コミュニケーションスキル⑧	傾聴：問題を解決する提案ができるか？ コーチング
9	実技教室	佐々木	医療コミュニケーション	父権主義、インフォームドコンセント、共有意思決定
10	実技教室	佐々木	医療コミュニケーション	医療場面におけるコミュニケーション
11	実技教室	佐々木	障がいのある方との交流	視覚障がい者との対話
12	実技教室	佐々木	医療コミュニケーション	見学場面でのコミュニケーション、見学実習での立ち振る舞い
13	実技教室	佐々木	医療コミュニケーション	見学場面でのコミュニケーション 演習
14	実技教室	佐々木	医療コミュニケーション	見学場面でのコミュニケーション 医療面接
15	実技教室	佐々木	医療コミュニケーション	見学場面でのコミュニケーション 医療面接 演習

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	解剖学Ⅰa										
担当者氏名	秋元 義弘										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									
		DP3 抱（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生産的働き、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、骨学、関節筋帯学、筋学について学ぶ。

《テキスト》

平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版、文光堂、2012年。

《参考図書》

渡辺正仁 監：『PT・OT・STのための解剖学』、廣川書店、2013（準教科書扱い）

横地千保：『カラーアトラス 人体－解剖と機能』、医学書院、2013
野村 碩：『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学』、医学書院、2024年。

《学生の留意点》

骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること、各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記）100%

《実務経験のある教員による科目》

解剖学教室の外來講師としての実務経験を活かした科目としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	秋元	解剖学総論	解剖学の概要、解剖学用語
2	講義教室	秋元	〃	解剖学の概要、解剖学用語
3	講義教室	秋元	骨学総論	骨の種類と構造、骨の発生と成長
4	講義教室	秋元	〃	骨の種類と構造、骨の発生と成長
5	講義教室	秋元	骨学各論	体幹の骨格（脊柱）
6	講義教室	秋元	〃	体幹の骨格（脊柱）
7	講義教室	秋元	〃	体幹の骨格（胸郭）
8	講義教室	秋元	〃	体幹の骨格（胸郭）
9	講義教室	秋元	〃	上肢の骨格
10	講義教室	秋元	〃	上肢の骨格
11	講義教室	秋元	〃	下肢の骨格
12	講義教室	秋元	〃	下肢の骨格
13	講義教室	秋元	〃	頭蓋の骨格
14	講義教室	秋元	〃	頭蓋の骨格
15	講義教室	秋元	復習	復習
16	講義教室	秋元	復習	復習
17	講義教室	秋元	関節筋帯学総論	関節の一般構造と種類
18	講義教室	秋元	〃	関節の一般構造と種類
19	講義教室	秋元	関節筋帯学各論	体幹、上肢の関節
20	講義教室	秋元	〃	体幹、上肢の関節
21	講義教室	秋元	〃	下肢の関節
22	講義教室	秋元	〃	下肢の関節
23	講義教室	秋元	筋学総論	筋の種類と作用、筋の補助装置
24	講義教室	秋元	〃	筋の種類と作用、筋の補助装置
25	講義教室	秋元	筋学各論	頭頸部の筋
26	講義教室	秋元	筋学各論	頭頸部の筋
27	講義教室	秋元	〃	上肢帯の筋
28	講義教室	秋元	〃	上肢帯の筋
29	講義教室	秋元	〃	上肢の筋
30	講義教室	秋元	〃	上肢の筋

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	解剖学Ⅰb										
担当者氏名	秋元 義弘										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、生物学、内臓学について学ぶ。

《テキスト》

平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版、文光堂、2012年。

《参考文献》

渡辺正仁 監：『PT・OT・STのための解剖学』、廣川書店、2013年。

〔準教科書扱い〕

横地千帆：『カラーアトラス 人体－解剖と機能』、医学書院、2013年。

野村道：『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学』、医学書院、2013年。

《学生の留意点》

骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《実務経験のある教員による科目》

解剖学教室の外來講師としての実務経験を活かした科目としている。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記）100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	秋元	筋学各論	体幹筋
2	講義教室	秋元	"	体幹筋
3	講義教室	秋元	"	下肢帯の筋
4	講義教室	秋元	"	下肢帯の筋
5	講義教室	秋元	"	下肢の筋
6	講義教室	秋元	"	下肢の筋
7	講義教室	秋元	内臓学総論	内臓の一般的構造と体内における配置
8	講義教室	秋元	"	内臓の一般的構造と体内における配置
9	講義教室	秋元	内臓学各論	消化器系
10	講義教室	秋元	"	消化器系
11	講義教室	秋元	"	消化器付属臓
12	講義教室	秋元	"	消化器付属臓
13	講義教室	秋元	"	循環器系（心臓と血管）
14	講義教室	秋元	"	循環器系（心臓と血管）
15	講義教室	秋元	"	循環器系（リンパ系）
16	講義教室	秋元	内臓学各論	循環器系（リンパ系）
17	講義教室	秋元	"	呼吸器系
18	講義教室	秋元	"	呼吸器系
19	講義教室	秋元	"	内分泌系
20	講義教室	秋元	"	内分泌系
21	講義教室	秋元	"	泌尿器系、男性生殖系
22	講義教室	秋元	"	泌尿器系、男性生殖系
23	講義教室	秋元	"	女性生殖系
24	講義教室	秋元	"	女性生殖系
25	講義教室	秋元	"	発生学
26	講義教室	秋元	"	発生学
27	講義教室	秋元	"	感覚器系（皮膚、味覚、嗅覚）
28	講義教室	秋元	"	感覚器系（皮膚、味覚、嗅覚）
29	講義教室	秋元	"	感覚器系（眼、耳）
30	講義教室	秋元	"	感覚器系（眼、耳）

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	解剖学Ⅱ										
担当者氏名	宮東 昭彦										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるとともに、より発展的な内容を持つ他科目の理解を助ける基礎的な概念を整理するため、神経系、脈管系について学ぶ。

《テキスト》

平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版、文光堂、2012年。

《参考図書》

渡辺正仁 監：『PT・OT・STのための解剖学』、廣川書店、2013。
野村 嶺 編：『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学第6版』、医学書院、2024。

《行動目標(SBOs)》

- 1.中枢神経系の基本構造と部位名を、主に断面像を用いて、機能と関連付けて説明できる
- 2.中枢神経系の伝導路について説明できる
- 3.脳神経と脊髄神経を列挙、走行経路と神経支配を説明できる

《学生の留意点》

新しい概念や用語が非常に多いので、講義ごとの復習が重要。質問はGoogle Classroomにて随時受け付ける。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

《実務経験のある教員による科目》

解剖学教室の外來講師による神経系、脈管系を講義形式で実施する。

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

期末筆記試験 90%，復習テスト 10%。

復習テストは、講義内容の確認のために随時実施する。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	宮東	神経系序説（宮東）	神経系についての基礎知識 神経系とは、中枢神経と末梢神経、神経細胞と神経線維
2	講義教室	宮東	神経系総論（宮東）	シナプスとニューロン系、脳の発生と構成、中枢神経系の基本構造
3	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	神経組織とグリア細胞、灰白質と白質、神経核と線維路について
4	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	脳室系・髄膜と脳脊髄液系、脳の方向と断面
5	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	大脳の構造、大脳皮質（新皮質、古皮質、原皮質）
6	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	大脳新皮質の機能局在：知覚領・運動領・連合中枢
7	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	大脳基底核と髄質 線条体と内包
8	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	間脳の構造、松果体、視床と視床核、視床下部、下垂体
9	講義教室	宮東	中枢神経系（宮東）	脳幹（中脳、橋、延髄）の構造と伝導路、網様体
10	講義教室	宮東	中枢神経系、伝導路（宮東）	脊髄の構造と機能局在、伝導路
11	講義教室	宮東	中枢神経系、伝導路（宮東）	小脳 構造、機能による区分、伝導路
12	講義教室	宮東	中枢神経系、伝導路（宮東）	運動性の伝導路：錐体路ほかの脊髄下行路と運動を調節する伝導路
13	講義教室	宮東	中枢神経系、伝導路（宮東）	感覚性の伝導路：体性感覚の種類と伝導路
14	講義教室	宮東	末梢神経系（宮東）	脳幹と脳神経、脳神経1～2（嗅神経、視神経）
15	講義教室	宮東	末梢神経系（宮東）	脳神経3,4,6（眼筋を支配する脳神経）、視覚反射

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学Ⅰa										
担当者氏名	渡辺 圭一										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

正常な生体機能がどのような機序で発現し、維持されているかについて理解を深めるため、「膜電位の発生機序」、「神経細胞の働き」、「体内での情報伝達機能」、「身体を動かす際の中樞神経の働き（生理）及び末梢神経と効果器（筋）の働き」について学ぶ。また、基本的なリハビリテーション医学の解釈に必要な基礎的知識を修得する。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』，文光堂，2022年。

《参考図書》

適宜紹介。

《行動目標(SBOs)》

1. 神経筋機能について電気特性と物質特性から説明できる。
2. 筋の機能について電気特性と物質特性から説明できる。
3. 身体を動かす際の中樞神経の働き（生理）について説明できる。
4. 身体を動かす際の末梢神経と効果器（筋）の働き（生理）について関係づけることができる。

《学生の留意点》

授業時間のみでは理解は深まりません。自分に適した自己学習方法を見つけ、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。生理学は解剖学とならんで医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも幅広く深い知識が問われます。そのことを意識して授業に臨んで下さい。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における臨床検査技師としての実務経験を活かした科目としている。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験70%，小テスト20%，レポート10%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	渡辺	概論	生理学概論，神経生理学概論
2	講義教室	渡辺	細胞機能の基礎	細胞の環境，構造・構造・機能調節
3	講義教室	渡辺	細胞機能の基礎②	細胞膜を通過する物質移動
4	講義教室	渡辺	細胞機能の基礎③	細胞膜を通過する物質移動
5	講義教室	渡辺	活動電位，イオンチャネル	膜電位，興奮発生と膜電流，イオンチャネルの機能と構造
6	講義教室	渡辺	神経の基本・興奮伝導について	神経線維の構造，跳躍伝導，興奮伝導の特徴（興奮伝導の3原則），神経線維の種類
7	講義教室	渡辺	骨格筋について	筋の基本的機能，筋節（サルコメア），筋フィラメント（アクチン，ミオシンについて）調節タンパク質（トロポニン，トロポミオシンについて）
8	講義教室	渡辺	骨格筋について（その2）	筋小胞体とT管（横行小管），Ca ²⁺ による筋収縮の開始（筋の収縮），等尺性収縮と等張性収縮，筋収縮の基本の型，神経支配比，筋収縮のエネルギー
9	講義教室	渡辺	興奮の伝達と抑制	興奮の伝達と抑制，シナプスについて，神経筋伝達，神経筋接合部の伝達
10	講義教室	渡辺	自律神経系①	自律神経系との構成と作用，自律神経系の受容体①
11	講義教室	渡辺	自律神経系②	自律神経系の受容体②
12	講義教室	渡辺	運動系①	脊髄について，脳幹について
13	講義教室	渡辺	運動系②	小脳について，大脳基底核について①
14	講義教室	渡辺	運動系③	大脳基底核について②
15	講義教室	渡辺	運動系④	運動系①～③までまとめ

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学Ⅰb										
担当者氏名	渡辺 圭一										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

正常な生体機能がどのような機序で発現し、維持されているかについて理解を深めるために「感覚機能および脳の統合機能が関与する生命機能」について学ぶ。また、基本的なリハビリテーション医学の解釈に必要な基礎的知識を修得する。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』，文光堂，2022年。

《参考図書》

適宜紹介。

《行動目標(SBOs)》

1. 感覚機能の点からヒトの生命機能を説明できる。
2. 脳の統合機能の点から人の生命機能を説明できる。

《学生の留意点》

授業時間のみでは理解は深まりません，自分に適した自己学習方法を見つけ，積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。生理学は解剖学とならんで医療従事者にとって必須の科目であり，臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも幅広く深い知識が問われます。そのことを意識して授業に臨んで下さい。各回の受講に際し，十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における臨床検査技師としての実務経験を活かした科目としている。

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験70%，小テスト20%，課題10%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	渡辺	運動系⑤	大脳皮質について
2	講義教室	渡辺	感覚生理学総論・体性感覚①	感覚系神経システムの理解
3	講義教室	渡辺	体性感覚②	感覚の強度，体性感覚と受容器，体性感覚の伝導路・中継核①
4	講義教室	渡辺	味覚、嗅覚	体性感覚の伝導路・中継核②，大脳皮質の体性感覚野，痛覚，痒み
5	講義教室	渡辺	聴覚	味覚，（味覚系，満腹，摂食中枢，嚥下）嗅覚
6	講義教室	渡辺	前庭感覚	音の性質と聴力，伝音機構，内耳の音受容，聴覚の中枢
7	講義教室	渡辺	視覚①	前庭器官の構造と機能，前庭系の神経回路
8	講義教室	渡辺	視覚②	眼球の光学系，網膜の光受容，視覚の中枢神経機序
9	講義教室	渡辺	感覚器	感覚としての視覚，眼球運動，演習
10	講義教室	渡辺	脳の統合機能①	感覚器（1～8回）のまとめ
11	講義教室	渡辺	脳の統合機能②	大脳皮質の構造と機能
12	講義教室	渡辺	脳の統合機能③	大脳辺縁系と視床下部
13	講義教室	渡辺	脳の統合機能④	脳の情動，行動を調節する伝達物質，脳波，演習（脳波について），覚醒と睡眠
14	講義教室	渡辺	脳の統合機能⑤	学習と記憶
15	講義教室	渡辺	脳の統合機能⑥	脳の統合機能（10～14回）のまとめ

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学IIa										
担当者氏名	武市 敏明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

生理学は臨床医学各分野の基幹となる学問領域である。

生理学は人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、人体の各種臓器の機能、役割について学び、合目的性として生体恒常性の機序を理解するもので、臨床医学への出発点となるものである。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』，文光堂，2022年。

中島雅美：『理学療法士・作業療法士PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート 第3版』，2017年。

《参考図書》

適宜紹介

《行動目標(SBOs)》

1. 体液、血液の役割と機序を説明できる。
2. 心臓、血管の循環系の役割と機序を説明できる。
3. 生体防御機構免疫系の役割と機序を説明できる。
4. 呼吸・酸塩基平衡の役割と機序を説明できる。
5. 体温調節と生体リズムの役割と機序を説明できる。

《学生の留意点》

今話題の最新医学や健康情報について、生理学的知識で精査してみましょう。臨床医学と生理学をより身近なものとして理解を深めることができます。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験70％，小テスト20％，レポート10％

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	武市	体液	生命現象の本態，ホメオスタシス、体液の役割，体液の組成，ミネラルの働き
2	講義教室	武市	体液	水分の生理機能，体液量の調節，脱水，浮腫，カルシウムの吸収と代謝
3	講義教室	武市	血液	血液の成分と機能，血液の物理化学的特性，血液の成分，造血と造血因子
4	講義教室	武市	血液	赤血球の形状と機能，赤血球の新生と破壊，ヘモグロビンの働き，貧血
5	講義教室	武市	血液	白血球，血小板，血漿の形状と機能，血液凝固作用，血小板血栓，二次血液凝固
6	講義教室	武市	血液	ABO式血液型，RH式血液型，赤血球の凝集反応，凝集原（抗原）凝集素（抗体）
7	講義教室	武市	免疫	非特異的防御機構，特異的防御機構，免疫機構，リンパの働き，アレルギー
8	講義教室	武市	循環	体循環，肺循環，心臓の構造と機能，心筋の特性，刺激伝導系
9	講義教室	武市	心臓	心周期，心音，心拍数の調節，心臓の神経支配，心筋の電気現象と心電図
10	講義教室	武市	血管	動脈・静脈・毛細血管の特徴，血管の自律神経，冠循環，脳循環，腹腔内循環
11	講義教室	武市	血管	血圧の調節要因，局所性調節，ホルモン調節，リンパ管の構造と機能
12	講義教室	武市	呼吸	換気の仕組み，気道，肺の構造と機能，呼吸筋と呼吸運動，肺胞換気量
13	講義教室	武市	呼吸	肺におけるガス交換，酸素・二酸化炭素の運搬，呼吸による体液の酸塩基平衡
14	講義教室	武市	呼吸	呼吸に影響を与える因子，呼吸調節作用，呼吸中枢，特殊環境の呼吸への影響
15	講義教室	武市	体温	体温の調節，体熱の産生，基礎代謝量，体熱の放散，体温調節中枢，日内変動

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学Ⅱb										
担当者氏名	武市 敏明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

生理学は臨床医学各分野の基幹となる学問領域である。

生理学は人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、人体の各種臓器の機能、役割について学び、合目的性として生体恒常性の機序を理解するもので、臨床医学への出発点となるものである。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』，文光堂，2022年。

中島雅美：『理学療法士・作業療法士PT・OT基礎から学ぶ生理学』，第2版，2017年。

《参考図書》

適宜紹介

《行動目標(SBOs)》

1. 消化・吸収の役割と機序を説明できる。
2. 栄養とエネルギーの役割と機序を説明できる。
3. 泌尿器系の役割と機序を説明できる。
4. 内分泌系の役割と機序を説明できる。
5. 生殖器系の役割と機序を説明できる。
6. 成長と老化の生理作用とその機序を説明できる。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験70%，小テスト20%，レポート10%

《学生の留意点》

今話題の最新医学や健康情報について、生理学的知識で精査してみましょう。臨床医学と生理学をより身近なものとして理解を深めることができます。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	武市	復習	前期講義内容の再確認
2	講義教室	武市	消化	口腔内消化、咀嚼・嚥下、唾液による消化、胃内消化、消化液分泌調節作用
3	講義教室	武市	消化	小腸の構造と機能、小腸壁の構造、小腸の運動、小腸における消化
4	講義教室	武市	吸収	栄養素の分解と吸収、肝臓の構造と機能、膵臓の構造と機能、胆嚢・胆道の機能
5	講義教室	武市	排便	大腸の構造と機能、大腸の運動、胃大腸反射、排便反射、肛門括約筋の機能
6	講義教室	武市	代謝	物質代謝、炭水化物代謝、脂肪代謝、タンパク代謝、核酸代謝、ビタミンの作用
7	講義教室	武市	腎臓	腎臓の構造と機能、ネフロン構造と機能、糸球体ろ過、尿管の働き、再吸収
8	講義教室	武市	腎臓	腎機能の測定、腎血流量、腎血漿流量、糸球体ろ過量の計算、腎クリアランス
9	講義教室	武市	排尿	尿管、膀胱・尿道の構造と機能、膀胱と尿道の神経支配、排尿反射、蓄尿反射
10	講義教室	武市	内分泌	ホルモンの化学的性質、ホルモンの受容器、ホルモンの作用機序
11	講義教室	武市	内分泌	視床下部ホルモン、下垂体前葉ホルモンの働き、下垂体後葉ホルモンの働き
12	講義教室	武市	内分泌	甲状腺ホルモン、副甲状腺ホルモン、膵臓ホルモン、副腎皮質・髄質ホルモン
13	講義教室	武市	生殖	排卵・月経、妊娠のホルモン、精巣の構造機能
14	講義教室	武市	老化	細胞の寿命と再生、身体機能の加齢変化、脳死判定、生理的老化の特徴
15	講義教室	武市	復習	後期講義内容の再確認

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	人間発達学										
担当者氏名	松本 実祐										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

対象者の発達過程を考慮しながら対応できるようになるために、人の生得的な能力を知り、また代表的な領域ごとの各発達段階における特徴を学ぶ。

《テキスト》

授業の中で資料を配布します。

《参考図書》

授業の中で資料を配布します。

《行動目標(SBOs)》

- 1.人の発達段階の特徴について各領域に分け説明できる。
- 2.発達障害について説明できる。
- 3.各ライフステージにおける発達の特徴について説明できる。

《学生の留意点》

積極的に授業に参加してください。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

《実務経験のある教員による科目》

臨床心理士としての実務経験を活かした科目としている。

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

期末試験 100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	オンデマンド	松本	オリエンテーション 生涯発達	オリエンテーション, 生涯発達
2	オンデマンド	松本	発達課題	発達課題
3	オンデマンド	松本	運動の発達	運動の発達
4	オンデマンド	松本	言語・感情	言語・感情
5	オンデマンド	松本	知覚・記憶	知覚・記憶
6	オンデマンド	松本	学習	学習
7	オンデマンド	松本	認知 ピアジェの認知発達理論	認知 ピアジェの認知発達理論
8	オンデマンド	松本	発達障害①	発達障害①
9	オンデマンド	松本	発達障害②	発達障害②
10	オンデマンド	松本	発達を見立てる	発達を見立てる
11	オンデマンド	松本	段階理論	フロイトの心理学的発達段階・マズローの欲求階層説・エリクソンの心理社会的発達段階理論
12	オンデマンド	松本	愛着	愛着
13	オンデマンド	松本	社会で生きるということ①	乳幼児期～児童・青年期
14	オンデマンド	松本	社会で生きるということ②	壮年・中年期
15	オンデマンド	松本	社会で生きるということ③	老年期

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床心理学										
担当者氏名	杉村 夕										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

対象者の心理的特徴や心的作用を考慮しながら実際場面で対応できるようになるために、臨床心理学の基本的理論、心理検査法、心理療法などを学ぶ。

《テキスト》

特になし

《参考図書》

授業の中でその都度紹介します。

《行動目標(SBOs)》

1. 臨床心理学の定義と対象、基本的な考え方を説明できる。
2. 代表的な心理検査の種類を列挙し、その特徴と内容について説明できる。
3. 代表的な心理療法について列挙し、その特徴と内容について説明できる。

《学生の留意点》

実際にさまざまな心理検査を実施したり、さまざまな心理療法の基礎を体験してもらったりします。
積極的な授業参加を期待します。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(※ 期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

期末試験100 %

《実務経験のある教員による科目》

当科目は臨床心理士が担当し、その実務経験を活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	杉村	臨床心理学の定義と対象、基礎理論	臨床心理学の定義と対象、基礎理論（学習、記憶、行動）
2	講義教室	杉村	心理アセスメント	面接法、行動観察法、心理検査法
3	講義教室	杉村	心理検査法①	性格検査（質問紙法）
4	講義教室	杉村	心理検査法②	性格検査（投影法）
5	講義教室	杉村	心理検査法③	性格検査（作業検査法）
6	講義教室	杉村	心理検査法④	知能検査（ウェクスラー式、ビネー式）
7	講義教室	杉村	心理療法①	概論
8	講義教室	杉村	心理療法②	精神分析療法、防衛機制と転移
9	講義教室	杉村	心理療法③	クライエント中心療法
10	講義教室	杉村	心理療法④	行動療法、認知行動療法
11	講義教室	杉村	心理療法⑤	自律訓練法
12	講義教室	杉村	心理療法⑥	その他の心理療法
13	講義教室	杉村	ライフサイクルと心理的問題	ライフサイクルと心理的問題、障害者・高齢者の心理、障害の受容、その他
14	講義教室	杉村	ストレスマネジメント	ストレスマネジメント
15	講義教室	杉村	まとめ	まとめ

《専門基礎分野 保健医療福祉とリハビリテーションの理念》

科目名	リハビリテーション概論										
担当者氏名	藤川 明代 浅沼 辰志、山田 千鶴子、柴田 真実										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

リハビリテーションを考究し続ける理学療法士になるために、リハビリテーションを概観し、特にパラスポーツを理解すること。

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

砂原茂一、「リハビリテーション」、岩波新書、1980、上田敏、「リハビリテーション 新しい生き方を創る医学」、ブルーバックス、1996、長谷川幹、「リハビリ 生きる力を引き出す」、岩波新書、2019。

《行動目標(SBOs)》

- 1.リハビリテーション歴史と理念を説明できる。
- 2.医学的リハビリテーションの概要を理解できる。
- 3.障害とは何か、理解できる。
- 4.リハビリテーションの多様性を説明できる。
- 5.パラスポーツの概要を理解できる。

《学生の留意点》

理学療法士の業務の場であるリハビリテーションの理念、歴史、実際と未来について学び、療法士の主な対象者である患者、障がい者を全人的に理解することを学んでください。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における医師・理学療法士・作業療法士としての実務経験を、専門分野の観点から授業内容に活かした科目としている。

(※ 期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

各回の課題で評価する(100%)。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	山田	オリエンテーション	導入、リハビリテーションの定義とその諸相
2	講義教室	外来講師	リハビリテーションの歴史と理念	リハビリテーションの歴史、理念、チームアプローチ
3	講義教室	外来講師	リハビリテーション医療	評価会議とゴール設定、リハビリテーションプログラム、クリニカルパス
4	講義教室	外来講師	医学的リハビリテーション	病期別リハビリテーション、地域リハビリテーション
5	講義教室	山田	リハビリテーションの理念と社会医学技術学院	社会医学技術学院創設者の目指したリハビリテーションとは
6	講義教室	浅沼	専門職に求められるもの	チームにおける理学療法士・作業療法士の役割と責任
7	実技教室	藤川	障害体験①	肢体不自由
8	実技教室	藤川	障害体験②	視覚障がい、聴覚・音声言語障がい
9	実技教室	藤川	パラスポーツ①	障がい者スポーツの意義と理念
10	実技教室	藤川	パラスポーツ②	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質
11	実技教室	藤川	パラスポーツ③	全国障がい者スポーツ大会の概要
12	実技教室	藤川	パラスポーツ④	実技
13	講義教室	柴田	障害とは	定義、歴史、国際生活機能分類、自立生活、ノーマライゼーション
14	講義教室	柴田	患者・障害者の心理・社会的側面①	患者・障がい者の心理、障害受容
15	講義教室	柴田	患者・障害者の心理・社会的側面②	心理教育、自立支援・就労支援・両立支援

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法概論										
担当者氏名	中山雅和										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

望ましい理学療法士像を探究するために、理学療法の概要や評価・治療という一連の流れを理解し、医療従事者として必要な知識および職業倫理を身につける。

《テキスト》

なし

《参考図書》

必要に応じて授業中にプリントを配布する。

《行動目標(SBOs)》

- 1.理学療法とは何か、その概要を説明することができる。
- 2.4年間の養成課程における学習の概要を理解し、自分が目指す理学療法士像を言葉で表現できる。
- 3.医療の中で、医療以外の中で理学療法士の役割を理解し、説明することができる。
- 4.理学療法士としてふさわしい態度を述べることができる。

《期末試験実施について》

実施する

《学生の留意点》

理学療法とはいかなる専門職なのか、これから4年間にわたる学習が何につながっていくのかを理学療法に関わる題材を通して考えてもらう時間となります。

また、いくつかの学習方法を提示しますので積極的な参加を期待します。

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

筆記試験100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	中山	オリエンテーション	授業オリエンテーション
2	講義教室	中山	理学療法の歴史	歴史的背景から学ぶこと
3	講義教室	中山	医療・福祉現場について	人間関係構築・専門職種について
4	講義教室	中山	理学療法士の養成	カリキュラムについて
5	講義教室	中山	よい理学療法士とは	理想の理学療法士像・望まれる姿・期待される役割
6	講義教室	中山	理学療法士に必要な能力	コミュニケーション能力・問題解決能力
7	講義教室	中山	医療従事者としての倫理	説明能力・承認確認・ハラスメント
8	講義教室	中山	医療におけるリスク管理	医療事故の要因
9	講義教室	中山	理学療法の流れ①	情報収集と評価,多職種連携
10	講義教室	中山	理学療法の流れ②	運動療法・物理療法・義肢装具療法・ADL
11	講義教室	中山	理学療法士が扱う機器	検査機器・治療機器・補助機器
12	講義教室	中山	理学療法士が関わる分野①	整形外科系運動器疾患
13	講義教室	中山	理学療法士が関わる分野②	脳神経・神経内科疾患
14	講義教室	中山	理学療法士が関わる分野③	地域での関わり・がん・終末期
15	講義教室	中山	理学療法士が関わる分野④	さまざまな職種と関わり

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅰ										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

臨床見学実習の目標を達成するために、理学療法士としての自覚を養いその職務を理解するとともに、臨床現場での基礎的な医療スキルを修得する。

《テキスト》

特に指定しない

《参考図書》

特に指定しない

《行動目標(SBOs)》

1. 臨床見学実習の目的を説明できる。
2. 理学療法士の役割と責任を自分の言葉で説明できる。
3. 時間厳守や身だしなみ、倫理的な判断など、専門職としての基本的な姿勢を身につけ、医療チームの一員としての協調性を発揮できる。
4. 手洗いや感染予防対策、介助などの基本的な技術を正しく実践できる。
5. 学習習慣を身につけ、既習の基礎医学知識を活用できる。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

ミニツペーパー60% 基礎知識小テスト20% 記録の練習課題20%

《学生の留意点》

医療人としてのマナーや、外部施設とのかかわりを持つうえでの留意点を学んでいきます。社会医学技術学院の学生としての自覚を持ち、適切な立ち振る舞いが実践できるような意識で臨んでください。

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	4年間の実習 実習および実習までの流れ 見学実習の意義
2	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	臨床実習の心構え ～学生として・社会人として～
3	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	感染対策 標準感染予防策の理解
4	実技教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	感染対策 演習(手指消毒)
5	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	医療安全/個人情報保護
6	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	ストレス対処 体調不良時の対応
7	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	医療安全/個人情報保護
8	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	危険予知トレーニング
9	実技教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	車椅子操作・介助
10	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	基礎知識の確認 解剖学小テスト
11	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	基礎知識の確認 生理学小テスト
12	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	能動的に実習を過ごすために
13	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	「デイリーノート」、「臨床経験気づき/学びリスト」「臨床実習チェックリスト」「実習のまとめ」
14	講義教室	佐々木	専門職としての適性およびふさわしい態度	記録の練習、記入の練習
15	講義教室	佐々木	実習オリエンテーション	臨床見学実習の目的、臨床実習ガイド読み合わせ

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	フィジカルアセスメント										
担当者氏名	藤川 明代										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

対象者に応じたフィジカルアセスメント（視診・触診・聴診・打診）や各検査測定（血圧・脈拍測定）が自ら実践できるようになるために、解剖生理での裏付けや結果の解釈を系統的に学習する。

《テキスト》

運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢・下肢）.2020.

《参考図書》

《行動目標(SBOs)》

- 1.解剖・生理学の知識を実技結果と結びつけることができる。
- 2.対象者に対して血圧測定ができる。
- 3.対象者に対して触診ができる。
- 4.対象者に対して肢長周径の測定ができる。
- 5.基本的なバイタルチェックを実施できる。

《学生の留意点》

講義前に実技のできる服装に着替え、必要物品を準備すること。積極的に参加し技術習得に努めること（実技に参加しない、私語・スマートフォン操作等、講義・技術習得の妨げとなる行為があった場合は欠席扱いとし、退室を命ずることがある）。知識面・実技の復習を必ず行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

実技試験(50点)、筆記試験(50点)にて評価する。下記に1つでも該当する場合、再試験を課す。①実技試験得点率60%未満、②筆記試験得点率60%未満、③合計得点60点未満。なお、本科目は臨床実践能力の習得に加え、基礎知識に基づいて判断する知識の習熟も重視しているため、再試験は筆記試験・実技試験ともに実施する

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	藤川	オリエンテーション・バイタルサイン①	オリエンテーション、バイタルサインとは（視診・触診・聴診・血圧・脈拍）
2	実技教室	藤川	バイタルサイン②	実技（脈拍、血圧測定）
3	実技教室	藤川	触診（骨）①	実技（ランドマークの触診）
4	実技教室	藤川	触診（骨）②	実技（ランドマークの触診）
5	実技教室	藤川	触診（骨）③	実技（ランドマークの触診）
6	実技教室	藤川	身体測定①	実技（四肢長測定）
7	実技教室	藤川	触診（筋）①	上肢の筋
8	実技教室	藤川	触診（筋）②	上肢の筋
9	実技教室	藤川	触診（筋）③	上肢の筋
10	実技教室	藤川	触診（筋）④	下肢の筋
11	実技教室	藤川	触診（筋）⑤	下肢の筋
12	実技教室	藤川	触診（筋）⑥	下肢の筋
13	実技教室	藤川	触診（筋）⑦	体幹の筋
14	実技教室	藤川	触診（筋）⑧	頭部・頸部の筋
15	実技教室	藤川	身体測定②	実技（周径測定）

《専門分野 地域理学療法学》

科目名	生活環境支援理学療法学										
担当者氏名	沼尾 拓										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

自立支援の為に、車椅子・福祉機器・住宅改造・周辺環境を含めた内容を理解し、すべての人が生活する上で必要なツール、援助を理学療法の観点から学ぶ。

《テキスト》

なし

《参考図書》

国際福祉機器展H.C.R.2021 福祉機器 選び方・使い方 副読本
基本動作編・住宅改修編・自立支援編 (データ資料)

《行動目標(SBOs)》

1. 車椅子の使用目的・機能を説明でき、操作方法を指導できる。
2. 福祉機器の目的・機能を説明でき操作方法を指導でき、調整等を行うことができる。
3. 車椅子のシーティングシステムを対象者に適用させる経験をする。
4. 住環境および自宅周辺環境について説明することができる。

《学生の留意点》

- ・主体的に授業に取りむこと。
- ・校外授業においては社会人として適切な言動を身に着けてほしい。
- ・実技を行う際には、実技にふさわしい身だしなみとし、学院の感染対策に則って行う。

《期末試験実施について》

実施しない

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

授業内課題(校外施設見学・体験についての課題も含む) (100%)

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	沼尾	オリエンテーション 車椅子	オリエンテーション 障害とは何か 寝返り・起き上がり・移乗 ①車椅子の名称②処方③メンテナンス④操作方法
2	実技教室	沼尾	歩行補助具	①杖の役割②処方③メンテナンス
3	講義教室	沼尾	ADL支援 施設見学1(準備)	起居・移乗・IADL 国立リハビリテーションセンター見学オリエンテーション
4		沼尾	施設見学1(参加)*	国立リハビリテーションセンター見学 《障害者の自立支援について》 *5/19(火)13:15(12:45航空公園駅集合)
5	講義教室	沼尾	施設見学1振り返り 5/20	グループワーク、発表
6	講義教室	沼尾	家屋評価について 5/27	評価する意義、記載方法
7	講義教室	沼尾	家屋評価検討 6/3	家屋バリアの解決実践(グループワーク)
8	講義教室	沼尾	屋外移動 6/10	屋内と屋外の違い、バリアフリー、公共機関の利用、自動車運転支援。対象者の社会参加を促進するための地域資源の活用。
9	講義教室	沼尾	施設見学2(準備)・マップ 作製(準備) 6/10	福祉・介護用具取扱業者アビリティーズ見学に関するオリエンテーション Wheelogアプリ使用法・マップ作製の注意点
10		沼尾	施設見学2(参加)*	アビリティーズ八王子ショールーム見学 *6/16PM
11	講義教室	沼尾	家屋改修案発表 6/24	家屋改修案発表
12		沼尾	バリアフリーマップ作製①	小金井駅周囲探索
13		沼尾	バリアフリーマップ作製②	東小金井駅周囲探索
14	講義教室	沼尾	マップ発表準備 7/15	バリアフリーマップグループ内供覧&発表準備
15	実技教室	沼尾	まとめ 7/22	バリアフリーマップ発表

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床見学実習										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	実習	単位数	1	回数	-	時間数	45	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法士の仕事を理解し、そのキャリア形成の第1歩とするために、早期に臨床見学を体験する。また、臨床現場の見学を通じて、理学療法士の役割やリハビリテーションのあり方を学び、また理学療法士および医療専門職として適切な態度や行動を養う。これらを通して、理学療法士としての自覚と学修意欲の向上を図る。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

指定なし。

《行動目標(SBOs)》

1. 実習施設(病院)の規模や役割を説明できる。
2. 実習施設(病院)のリハビリテーション全体における位置づけ、理学療法・作業療法部門の組織、役割を説明できる。
3. 他部門(職種)の役割と連携について説明できる。
4. 挨拶・報告・連絡・相談・相応しいコミュニケーションを実践できる。
5. 感染予防(標準予防策)、医療安全、個人情報保護を遵守できる。
6. 望ましい理学療法士像を述べることができる。

《学生の留意点》

何を見学するのかを明確にし、理学療法士と対象者の関わり方がどのように行われていたのか、対象者の困りごとは何なのかを見学すること。また、その上であいさつや質問などを自ら積極的にできるように心がけること。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「合」・「否」の2段階で行います。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1			施設の特徴、理学療法士の役割を知る。	5日間の臨床見学実習
2			発表・共有	実習後セミナー
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における理学療法士が、その実務経験を活かした科目となっている。

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	運動学Ⅰ										
担当者氏名	小宮山 一樹										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

理学療法治療技術論への学習の基礎とするために、上肢・体幹の機能解剖及び、呼吸、循環、代謝の基本的知識を習得する。

《テキスト》

中村隆一他：『基礎運動学 第7版』。医歯薬出版。2012。
平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版。文光堂。2012。

《参考図書》

嶋田智明他訳：『筋骨格系のキネシオロジー』。医歯薬出版。2012。
塩田悦二訳：『カバンジー機能解剖学Ⅱ』。医歯薬出版。2010。
勝田茂編著：『入門運動生理学』。杏林書院。2015。

《行動目標(SBOs)》

1. 関節構造や筋活動の特性を踏まえて身体運動が説明ができる。
2. 上肢・体幹の構造と運動が説明できる。
3. 体幹、肩関節、肘関節、手関節の運動学的特徴を説明できる。
4. 運動学としての呼吸・代謝の仕組みを説明できる。

《学生の留意点》

解剖、生理学に基づいた専門的内容が多くなる。解剖学各回の復習を欠かさず授業に臨むこと。教材室にある骨標本・筋模型を利用して、具体的に理解することにつとめること。毎回教材備品を授業開始までに準備すること必要に応じて自らの身体を実際に動かして積極的に学習すること。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を機能解剖の知識獲得のために活かした授業としている。

《期末試験実施について》

実施する

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

小テスト25%・筆記試験75%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	小宮山	オリエンテーション	運動学概要、運動学を学ぶ意味
2	講義教室	小宮山	骨学総論	関節の副運動、関節の形状による分類など
3	講義教室	小宮山	骨学総論	運動面と運動軸、運動方向表現など
4	講義教室	小宮山	筋学総論	筋収縮の様式、筋の滑走説など
5	講義教室	小宮山	筋学総論	張力-長さ曲線、テノデシスアクションなど
6	講義教室	小宮山	肩関節・肩甲帯の機能解剖	胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲胸郭関節、第二肩関節について
7	講義教室	小宮山	肩関節・肩甲帯の機能解剖	肩関節・肩甲帯の筋と作用について
8	講義教室	小宮山	肘関節・前腕の機能解剖	腕尺関節、腕橈関節、上下橈尺関節について
9	講義教室	小宮山	肘関節・前腕の機能解剖	肘関節・前腕の筋と作用について
10	講義教室	小宮山	手関節・指の機能解剖	外来筋群と内在筋群、末梢神経麻痺、指背腱膜など
11	講義教室	小宮山	脊柱の機能解剖	脊柱の構造と各部位の運動学的特徴について
12	講義教室	小宮山	頭部の機能解剖	軸椎関節および環椎後頭関節の運動について、頭部の運動と筋活動について
13	講義教室	小宮山	胸腰部の機能解剖	姿勢と椎間板内圧について、胸椎、腰椎の関節運動
14	講義教室	小宮山	呼吸の運動学	胸式呼吸・腹式呼吸の運動学など
15	講義教室	小宮山	運動と代謝	運動とエネルギー代謝について

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	運動学Ⅱ										
担当者氏名	坂田 晋一										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法評価や治療技術論への学習の基礎とするために、理学療法士に最低限必要な「下部体幹から足部までの運動学」と「運動の中枢神経機構」を習得する。

《テキスト》

中村隆一他：『基礎運動学第7版』，医歯薬出版，2025年。
平田幸男訳：『解剖学アトラス』，文光堂，2012年。

《参考図書》

嶋田智明他訳：『筋骨格系のキネシオロジー』，医歯薬出版，2018年。
塩田悦二訳：『カバンジー機能解剖学Ⅱ下肢』，医歯薬出版，2019年。

《行動目標(SBOs)》

1. 骨盤の構造と運動を説明することができる。
2. 股・膝・足関節の構造と運動を説明することができる。
3. 関節の安定化機構を説明することができる。
4. 正常歩行について説明することができる。
5. 運動学習について説明することができる。

《学生の留意点》

基幹科目の一つです。予習・復習を十分にしながら確実に理解を進めてください。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験（85％）各回の予習復習に関する提出課題（15％）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かし「理学療法評価や治療技術論への学習の基礎となるような運動学事項の理解」を目指す。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	坂田	骨盤の構造と運動表現	コースオリエンテーション／骨盤の解剖学的理解と運動方向表現, 歩行の復習
2	講義教室	坂田	骨盤と姿勢(上行性運動連鎖)	骨盤傾斜角,腰椎骨盤リズムについて
3	講義教室	坂田	骨盤と姿勢(下行性運動連鎖)	トーマステストについて
4	講義教室	坂田	股関節の構造と機能_1	股関節の解剖学的理解と重要な角度
5	講義教室	坂田	股関節の構造と機能_2	股関節の構造と機能／靭帯機構と筋作用
6	講義教室	坂田	股関節の構造と機能_3	運動時の安定性について,トレンデレンベルグとデュシャンヌ跛行について
7	講義教室	坂田	膝関節の構造と機能_1	膝関節の解剖学的理解と運動(滑りと転がり,終末強制回旋)
8	講義教室	坂田	膝関節の構造と機能_2	膝関節の静的安定化機構
9	講義教室	坂田	膝関節の構造と機能_3	膝関節の動的安定化機構
10	講義教室	坂田	足関節・足部の構造と機能_1	足関節足部の解剖学的理解と運動表現
11	講義教室	坂田	足関節・足部の構造と機能_2	足関節足部に特有な関節軸と複合された運動の理解
12	講義教室	坂田	足関節・足部の構造と機能_3	足関節足部の筋解剖学／足アーチの機能
13	講義教室	坂田	歩行_1	歩行について
14	講義教室	坂田	歩行_2	歩行について
15	講義教室	坂田	運動学習	運動学習

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	運動学演習										
担当者氏名	沼尾 拓										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

バイオメカニクス・運動学Ⅰ・Ⅱで習った知識を実際の運動に結び付けるために、機器を用いた測定を通じて理解する。

《テキスト》

なし

《参考図書》

中村隆一他：『基礎運動学第7版』、医歯薬出版株式会社、2025年。
臨床歩行分析研究会：『姿勢・動作・歩行分析 第2版(PT・OTビジュアルテキスト)』、羊土社、2023年

《行動目標(SBOs)》

- ・運動の際の重心移動・床反力・関節運動・筋収縮を説明できる。
- ・筋力について、その収縮様式ごとの特性を説明できる。
- ・呼吸代謝のメカニズムを説明できる。

《学生の留意点》

各単元で理解した内容を文章で説明する課題を課します。
しっかりとメモを取りながら授業に参加してください。
また、歩行の測定後にSBOに沿った考察を書いてもらいます。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

課題50%、筆記試験50%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、沼尾拓（理学療法士）が担当し、その実務経験を生かした内容である。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	沼尾	コースオリエンテーション	重力のある世界で運動するとは 歩行用語
2	講義教室	沼尾	歩行用語	基本歩行用語・相分け
3	講義教室	沼尾	正常歩行時の重心移動	
4	講義教室	沼尾	正常歩行時の床反力制御	
5	講義教室	沼尾	正常歩行時の関節運動	
6	講義教室	沼尾	正常歩行時の筋活動	
7	実技教室	複数	演習①	単元1：筋張力と筋力 単元2：正常歩行の筋活動 単元3：運動と呼吸代謝 単元4：立ち上がり時の身体重心軌跡と床反力
8	実技教室	複数	演習①	クラスを4班に分け上記単元1-4を演習①-④で順に実験していきます
9	実技教室	複数	演習②	同上
10	実技教室	複数	演習②	同上
11	実技教室	複数	演習③	同上
12	実技教室	複数	演習③	同上
13	実技教室	複数	演習④	同上
14	実技教室	複数	演習④	同上
15	講義教室	沼尾	まとめ	

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	病理学概論										
担当者氏名	堀田 綾子										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

様々な疾患の特徴や原因について科学的な理解を深めるために、最低限必要な基本的医学用語と医学知識を身に付け、主な疾患の病態を組織像とともに学ぶ。

《テキスト》

指定なし、毎回授業内容に沿ったプリントを配布する。

《参考図書》

指定なし。

《行動目標(SBOs)》

1. 外因の生物的要因の説明、代表疾患、退行/進行性病変、各諸型、免疫に関与する因子/細胞や傷害疾患、代表的な感染症の種類/特徴を説明、列挙できる。
2. 代表的な腫瘍名、発生母組織との関係、悪性腫瘍の進展形式を説明できる。
3. 呼吸、消化、生殖器に発生する代表疾患、特徴を説明できる。
4. 脳出血・脳梗塞、くも膜下出血の原因、発生機序を説明できる

《学生の留意点》

病理学とは何か、病理学を学ぶ意義は何かについて、それぞれが考えてほしい。講義内容の理解を深めるため、復習は確実に行ってください。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(※ 期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

筆記試験100% (期末試験)

《実務経験のある教員による科目》

実務経験を有する医師が担当する。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	堀田	病理学総論 (1)	病理学とは何か 最近のトピックス
2	講義教室	堀田	病理学総論 (2)	細胞障害と適応、変性、代謝障害
3	講義教室	堀田	病理学総論 (3)	炎症
4	講義教室	堀田	病理学総論 (4)	免疫、膠原病
5	講義教室	堀田	病理学総論 (5)	感染症
6	講義教室	堀田	病理学総論 (6)	腫瘍
7	講義教室	堀田	病理学各論 (1)	呼吸器系の疾患1
8	講義教室	堀田	病理学各論 (1)	呼吸器系の疾患2
9	講義教室	堀田	病理学各論 (2)	消化器系の疾患1
10	講義教室	堀田	病理学各論 (2)	消化器系の疾患2
11	講義教室	堀田	病理学各論 (3)	生殖器系の疾患1
12	講義教室	堀田	病理学各論 (3)	生殖器系の疾患2
13	講義教室	堀田	病理学各論 (4)	脳・神経系の疾患1
14	講義教室	堀田	病理学各論 (4)	脳・神経系の疾患2
15	講義教室	堀田	まとめ	

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床神経学										
担当者氏名	栗崎 博司、井上 里英、板東 充秋										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法へ展開するために、神経障害を生じる主な疾患の疫学、病態、予後、症状、評価・検査、一般的治療について学ぶ。

《テキスト》

江藤文夫 編：『神経内科学テキスト』、南江堂、2017。

《参考図書》

《行動目標(SBOs)》

1. 神経内科疾患の成因と分類について説明できる。
2. 神経内科領域の主な疾患についての診断について説明できる。
3. 神経内科領域の主な疾患についての評価、治療について説明できる。
4. 神経内科と関連する保健と福祉に関連する法律について説明できる。

《学生の留意点》

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における神経内科学医師としての実務の経験を生かした科目としている。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記試験）100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	オンデマンド	栗崎/井上	総論	神経機能解剖／神経生理／診断総論（脳血管障害を含む）
2	講義教室	栗崎/井上	"	神経機能解剖／神経生理／診断総論（脳血管障害を含む）
3	オンデマンド	栗崎/井上	"	神経薬理／治療総論／神経の成長・加齢
4	オンデマンド	栗崎/井上	"	神経薬理／治療総論／神経の成長・加齢
5	オンデマンド	板東	各論	画像の読み方の基礎
6	オンデマンド	板東	"	病因と画像 脳血管障害他
7	オンデマンド	板東	"	神経難病 パーキンソン病 脊髄小脳変性症 多系統萎縮症 進行性核上性麻痺 大脳皮質基底核変性症
8	オンデマンド	板東	"	認知症 アルツハイマー型認知症 脳血管性認知症 レビー小体型認知症他
9	オンデマンド	板東	"	高次脳機能障害 スクリーニング 失語症
10	オンデマンド	板東	"	高次脳機能障害 視空間障害 記憶障害 前頭葉機能障害
11	オンデマンド	栗崎/井上	"	意識障害／脳神経／運動の経路
12	オンデマンド	栗崎/井上	"	意識障害／脳神経／運動の経路
13	オンデマンド	栗崎/井上	"	感覚の経路／運動失調／嚥下機能
14	講義教室	栗崎/井上	"	感覚の経路／運動失調／嚥下機能
15	オンデマンド	栗崎/井上	症候学	錐体外路症候／自律神経／異常歩行
16	オンデマンド	栗崎/井上	症候学	錐体外路症候／自律神経／異常歩行
17	オンデマンド	栗崎/井上	"	血管障害 神経画像／正常圧水頭症／頭部外傷
18	オンデマンド	栗崎/井上	"	血管障害 神経画像／正常圧水頭症／頭部外傷
19	オンデマンド	栗崎/井上	"	筋萎縮性側索硬化症（ALS）の基礎と在宅におけるALS患者への支援
20	オンデマンド	栗崎/井上	"	筋萎縮性側索硬化症（ALS）の基礎と在宅におけるALS患者への支援
21	オンデマンド	栗崎/井上	"	脳腫瘍／感染
22	オンデマンド	栗崎/井上	"	脳腫瘍／感染
23	オンデマンド	栗崎/井上	"	筋疾患／重症筋無力症
24	オンデマンド	栗崎/井上	"	筋疾患／重症筋無力症
25	オンデマンド	栗崎/井上	"	内科疾患に伴う神経症候／中毒／代謝疾患
26	オンデマンド	栗崎/井上	"	内科疾患に伴う神経症候／中毒／代謝疾患
27	オンデマンド	栗崎/井上	"	脱髄疾患／末梢神経疾患／自律神経障害
28	オンデマンド	栗崎/井上	"	脱髄疾患／末梢神経疾患／自律神経障害
29	オンデマンド	栗崎/井上	"	小児先天性疾患
30	講義教室	栗崎/井上	"	小児先天性疾患

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	整形外科学Ⅰ										
担当者氏名	渡邊 幹彦										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

理学療法、作業療法に活かすために、整形外科学的主要な疾患概念、病態、神経学的検査、診断、治療そして予後等における一般的知識について修得する。

《テキスト》

医療情報科学研究所編：『病気がみえる Vol.11 運動器・整形外科』、メディックメディア、2017。

《参考図書》

標準整形外科学第17版、医学書院。

《行動目標(SBOs)》

- 1.骨、軟部組織の修復と再生について理解できる。
- 2.整形外科診断、特に画像診断について理解できる。
- 3.主要な疾患・外傷の治療、特に手術療法について理解できる。

《学生の留意点》

身体構造（解剖）の問題を取り扱う臨床医学です。どのような領域においても対象者が有していることが多く、その症状・病態生理・評価（検査法）・整形外科治療の理解は、安全かつ効果的な理学療法、作業療法につながります。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

本科目は、臨床医が担当し、その実務経験を活かした授業を展開する。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

期末試験100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	渡邊	総論Ⅰ	整形外科総論
2	講義教室	渡邊	総論Ⅱ	外傷総論
3	講義教室	渡邊	外傷	外傷各論
4	講義教室	渡邊	変形性関節症	変形性関節症総論
5	講義教室	渡邊	下肢の疾患Ⅰ	下肢（股、膝、足関節）各論①
6	講義教室	渡邊	下肢の疾患Ⅱ	下肢（股、膝、足関節）各論②
7	講義教室	渡邊	上肢の疾患	上肢（肩、肘、手関節）各論
8	講義教室	渡邊	体幹の疾患Ⅰ	体幹各論（脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、骨粗鬆症等）
9	講義教室	渡邊	体幹の疾患Ⅱ	体幹各論（脊柱、脊髄腫瘍、末梢神経障害等）①
10	講義教室	渡邊	体幹の疾患Ⅲ	体幹各論（脊柱、脊髄腫瘍、末梢神経障害等）②
11	講義教室	渡邊	腫瘍	骨軟部腫瘍、脊髄腫瘍
12	講義教室	渡邊	リウマチ性疾患	関節リウマチ、脊椎炎、感染
13	講義教室	渡邊	骨系統疾患、代謝性疾患	骨系統疾患、代謝性疾患
14	講義教室	渡邊	復習	復習問題
15	講義教室	渡邊	国家試験問題	過去問

科目名	整形外科科学Ⅱ										
担当者氏名	中村 壮太										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

運動器系理学療法学の治療手技を習得するために、その基本となる関節可動域制限に対する運動療法（関節可動域運動、モビライゼーション、筋力増強運動）を習得すること。

《テキスト》

特に指定なし。

《参考図書》

奈良勲：関節可動域、運動と医学の出版社、2023。

《行動目標(SBOs)》

- 1) 整形外科リハビリテーションの概要を理解できる。
- 2) 脊柱・四肢関節への関節可動域運動を実施できる。
- 3) 主要関節へのモビライゼーションを実施できる。
- 4) 主要関節への筋力増強運動を実施できる。

《学生の留意点》

・理学療法の中核を占める運動療法のうち、基本的手技を整形外科の主要な疾患を通して習得する科目です。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

期末試験（実技100％）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	中村	オリエンテーション	目的・目標・成績評価の共有
2	実技教室	中村	関節可動域	下肢関節への関節可動域運動
3	実技教室	中村	関節可動域	上肢関節への関節可動域運動
4	実技教室	中村	関節可動域	脊椎への関節可動域運動
5	実技教室	中村	モビライゼーション	下肢関節へのモビライゼーション
6	実技教室	中村	モビライゼーション	上肢関節へのモビライゼーション
7	実技教室	中村	モビライゼーション	脊椎へのモビライゼーション
8	実技教室	中村	筋力増強運動	下肢筋群への筋力増強運動
9	実技教室	中村	筋力増強運動	上肢筋群への筋力増強運動
10	実技教室	中村	筋力増強運動	体幹筋群への筋力増強運動
11	実技教室	中村	応用的アプローチ	運動療法と最新物理療法の併用アプローチ
12	実技教室	中村	応用的アプローチ	運動療法と最新物理療法の併用アプローチ
13	実技教室	中村	関節可動域・モビライゼーション 筋力増強運動	復習
14	実技教室	中村	整形外科リハビリテーション	整形外科リハビリテーション総論①
15	実技教室	中村	整形外科リハビリテーション	整形外科リハビリテーション総論②

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床内科学Ⅰ										
担当者氏名	複数外来講師										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

内科疾患の知識をもとに、作業療法に活かすために、主な内科疾患の病態、症状、疫学、予後、評価・検査、一般的治療を知る。

《テキスト》

奈良塾他監修：『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版』、医学書院、2020。

《参考図書》

《行動目標(SBOs)》

- 1.内科学で扱う疾患について説明できる。
- 2.主な循環器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
- 3.主な代謝性疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
- 4.主な呼吸器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
- 5.主な消化器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
- 6.感染症、腎疾患、膠原病の特徴について説明ができる。

《学生の留意点》

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

《実務経験のある教員による科目》

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

本科目は、複数の医師が担当し、その実務経験を授業内容の講義などにいかした授業となっています。

《成績評価の方法》

筆記試験100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	高橋	内科学総論	内科学総論
2	講義教室	原田	内科学各論	血液・内分泌疾患①
3	講義教室	原田	〃	血液・内分泌疾患②
4	講義教室	原田	〃	血液・内分泌疾患③
5	オンデマンド	杉山	〃	循環器疾患①
6	オンデマンド	杉山	〃	循環器疾患②
7	オンデマンド	杉山	〃	循環器疾患③
8	講義教室	政木	〃	消化器疾患①
9	講義教室	政木	〃	消化器疾患②
10	講義教室	佐藤	〃	呼吸器疾患①
11	講義教室	佐藤	〃	呼吸器疾患②
12	講義教室	関	〃	感染症
13	講義教室	高橋	〃	膠原病
14	講義教室	上田	〃	腎臓疾患
15	講義教室	高橋	総論	まとめ

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床内科学Ⅱ										
担当者氏名	遠藤 敏、保崎 明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一箇の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

高齢期にある対象者を的確に理解するために、老化がもたらす生理学的変化や老年者の疾患の特徴について学ぶ。
理学療法へ展開するために、小児の生理・心理・疾病の特徴と小児保健に関する基本的な知識を学ぶ。

《行動目標(SBOs)》

【老年医学】1.高齢者の特徴と医療・福祉政策が言える 2.老化と加齢,老年症候群の特徴を言える 3. 高齢者の機能・生活評価の説明ができる

【小児科学】1.先天異常について説明できる、2.新生児の特徴について説明できる、3. 感染症、または予防接種の種類を列挙できる、4.小児の発達過程を説明できる、5.小児保健について説明できる、6.循環器障害の種類と特徴について説明できる。

《期末試験実施について》

実施する

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

筆記試験100% (老年医学60%、小児科学40%)

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

大村尉義編：『標準理学療法学・作業療法学 老年学第4版』、医学書院、2014。

日本老年医学会編：『老年医学テキスト3版』、MEDICALVIEW、2013。

《学生の留意点》

老年の疾患でなく、高齢の生活者として考えるようにしてほしい。小児科学においては「こどもは大人の小型ではないので小児の身体的・心理的特徴、及び疾患の特徴をよく理解し、問題解決、治療指導において必要な技能、相応しい態度を身に付けられるように学習に臨んでほしい。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は遠藤敏（理学療法士）と保崎明（小児科医）が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	遠藤	老年学とは	老年医学から老年学への発展
2	講義教室	遠藤	高齢化の問題	高齢社会の抱える諸問題とその対策
3	講義教室	遠藤	高齢者の生理学的特徴1	高齢者の生理学的特徴（視覚,聴覚,嗅覚,味覚,体性感覚などの感覚器）
4	講義教室	遠藤	高齢者の生理学的特徴2	高齢者の生理学的特徴（呼吸,心臓,腎臓,肝臓などの臓器）
5	講義教室	遠藤	老年症候群	老年症候群と廃用症候群
6	講義教室	遠藤	フレイルとロコモティブ・シンドローム	フレイルとロコモティブ・シンドロームの理解
7	講義教室	遠藤	高齢者の主な疾患①	高齢者における,特に重要な疾患
8	講義教室	遠藤	高齢者の主な疾患②	高齢者における,特に重要な疾患
9	講義教室	遠藤	高齢者の機能・生活評価	高齢者の機能・生活評価の検査項目とテストバッテリー
10	講義教室	保崎	小児の疾病 1	成長・発達,新生児疾患,先天異常,アレルギー疾患
11	講義教室	保崎	小児の疾病 2	腎・泌尿器・消化器疾患,感染症,川崎病
12	講義教室	保崎	小児の疾病 3	呼吸器,内分泌疾患,先天性心疾患,小児救急他
13	講義教室	保崎	〃	感染症
14	講義教室	保崎	小児の疾病と障害 保健	発達と小児保健・循環器障害
15	講義教室	保崎	〃	発達と小児保健・循環器障害

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	リハビリテーション医学										
担当者氏名	前島 早代、森 逸平										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学・作業療法に展開するために、リハビリテーション医学の概念と各障害に対する基本的原則を学ぶ。

《テキスト》

『Crosslink basic リハビリテーションテキスト リハビリテーション医学』メジカルビュー社

《参考図書》

講義内で提示します。

《行動目標(SBOs)》

1. 各障害の生じる病態・疫学・予後を記述できる
2. 各障害の診断法・医学的治療を説明できる
3. 各障害に対する病期に応じたリハビリテーションを説明できる
4. 各障害の特徴を列挙できる

《学生の留意点》

正しい医学知識を身につけ、臨床での応用を常に念頭において勉強して欲しい。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

筆記試験 100%

《実務経験のある教員による科目》

本科目は医師が担当し、その実務経験を授業内容の講義にいかした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	森	総論2	臨床生理～骨格筋の解剖生理
2	講義教室	森	総論2	バイオメカニクス～運動学
3	講義教室	森	総論3、4	リハビリテーション診断・治療
4	講義教室	森	各論1	脳血管障害・頭部外傷1
5	講義教室	森	各論1	脳血管障害・頭部外傷2
6	講義教室	森	各論2	運動器疾患1 上肢の絞扼性神経障害まで
7	講義教室	前島	各論2、3	運動器疾患2 股関節の疾患～脊髄損傷
8	講義教室	前島	各論4	神経筋疾患
9	講義教室	森	各論5、7	切断とリウマチ性疾患
10	講義教室	森	各論6	小児疾患
11	講義教室	森	各論8	循環器疾患 総論2 循環の臨床生理
12	講義教室	森	各論9	呼吸器疾患 総論2 呼吸の臨床生理
13	講義教室	森	各論10、11	腎疾患、内分泌代謝疾患
14	講義教室	森	各論12～15、20、21	集中治療、摂食・嚥下、栄養管理、がん、社会貢献、展開
15	講義教室	森	各論16～19	外傷、骨粗鬆症、熱傷、その他

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	社会医学										
担当者氏名	小林 規彦、堀尾 隆										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									○

《一般教育目標(GIO)》

医療職である療法士としてプライマリヘルスケアを理解するために、社会医学の概要について考察する。

《テキスト》

『理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション』，南江堂，2023年

《参考図書》

授業内に提示する。

《行動目標(SBOs)》

- ・社会医学の概要を説明できる。
- ・国際的な流れと国内の動きを理解できる。
- ・理学療法の関与を説明できる。

《学生の留意点》

オンデマンド形式で実施するため、理解が曖昧な箇所は複数回の視聴により充足することが望まれる。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

全ての回で提示する課題 100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、実務経験ならびに当該分野専門教育経験のある講師が担当している。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	オンデマンド	小林	コースオリエンテーション	社会医学とは プライマリーヘルスケアとは
2	オンデマンド	小林	社会・環境と健康	社会・環境と健康
3	オンデマンド	小林	疫病と予防医学	疫病と予防医学
4	オンデマンド	小林	生活習慣と疾病	生活習慣と疾病
5	オンデマンド	小林	感染症対策	感染症対策
6	オンデマンド	小林	国際保健	国際保健
7	オンデマンド	堀尾	地域保健	地域保健
8	オンデマンド	堀尾	産業保健	産業保健
9	オンデマンド	堀尾	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度
10	オンデマンド	小林	介護保険制度	介護保険制度
11	オンデマンド	小林	医の倫理と患者の人権	医の倫理と患者の人権
12	オンデマンド	堀尾	終末期医療と死の概念	終末期医療と死の概念
13	オンデマンド	堀尾	社会医学の中の理学療法Ⅰ	社会医学の中の理学療法
14	オンデマンド	堀尾	社会医学の中の理学療法Ⅱ	社会医学の中の理学療法
15	オンデマンド	小林	まとめ	全体の振り返り 理学療法への応用

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅱ										
担当者氏名	福田 崇										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅰ（地域リハビリテーション見学と検査測定実習）の目標を達成するために、検査測定技術について振り返りを行う。また、地域包括ケアシステムを概観し、介護保険法についても理解する。さらに臨床実習Ⅰについて振り返り、各々の課題を見つけることができ、臨床実習Ⅱまでに学修すべき内容と学修プランを挙げられる。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《行動目標(SBOs)》

- 1.臨床実習Ⅰ（地域リハビリテーション見学と検査測定実習）の目的を説明できる。
- 2.介護保険法、地域包括ケアシステムの組織を理解できる。
- 3.基本的な「検査測定」を学生間で実施できる。
- 4.検査測定結果についての記録をSOAPを用いて実施できる。

《学生の留意点》

検査測定技術については前年度評価学で学んだ内容を復習し、さらなる技術向上に努めること。

また、対象者に対して適切な手技が行えるよう、ロールプレイでは医療従事者としての自覚を持って積極的に取り組むこと。

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《期末試験実施について》

実施しない

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

実技課題60％ 提出課題40％

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	福田	地域リハビリテーションについて	地域包括ケアシステム/介護保険法
2	実技教室	福田	理学療法検査測定	基本動作介助
3	実技教室	福田	理学療法検査測定	基本動作介助
4	実技教室	福田	理学療法検査測定	バイタルサイン/肢長周径
5	実技教室	福田	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
6	実技教室	福田	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
7	実技教室	福田	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
8	実技教室	福田	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
9	実技教室	福田	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
10	実技教室	福田	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
11	実技教室	福田	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
12	実技教室	福田	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
13	講義教室	福田	実習オリエンテーション	臨床実習Ⅰの目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
14	講義教室	福田	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例の記録（カルテ）」の書き方 ～SOAPとは～
15	講義教室	福田	臨床実習ポートフォリオ	「臨床実習Ⅰのまとめ」の書き方 ～結果の解釈について～

【専門分野 理学療法評価学】

科目名	理学療法評価学Ⅰ										
担当教員氏名	佐々木 亮平										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2 DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
	DP3 DP3	他（多）職種との連携を確立し、常に対象となる人にとって最高の支援を追求できる人									
	DP4 DP4	専門職として生涯学習し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

【一般教育目標(GIO)】

理学療法評価の総論を踏まえ、価値性のある理学療法評価を実施できるようになるため、関節可動域測定および徒手筋力測定の意義・目的・方法を説明することができ、実施することができる。

【テキスト】

1.Helen J.Hislop,Jacqueline Montgomery著,澤山直一 訳:『新・徒手筋力検査法 原著第10版』,協同医学出版社,2020年

【参考文献】

青木主税:『ROMナビ』,有明会社ラウンドフラット,2013年。

【行動目標(SBOs)】

- 1.定義・目的・原則を説明できる。
 - 2.測定を実施する際に適切なオリエンテーションが行える。
 - 3.測定時に代償動作を抑制し、正しい位置に徒手抵抗を加えることができる。
 - 4.上下肢・体幹の徒手筋力検査において各関節運動方向での主動作筋・測定部位が言える。
 - 5.関節可動域測定に必要なランドマークの触診ができる。
 - 6.基本軸・移動軸を説明できる。
- 【期末試験実施について】
実施する

【学生の留意点】

- 1.解剖学・運動学の知識が前提となるので十分に復習をしてください。
- 2.実技は動きやすい服装(触診が可能なようにTシャツ・短パンまたは白衣)に着替えてください。
- 3.数多くの経験をするために、実技では様々な人と練習を行ってください。
- 4.各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

【実務経験のある教員による科目】

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価演習の理解に向け検査測定とその解釈」に活かした授業としている

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

【成績評価の方法】

期末試験 実技試験(70%)、筆記試験(30%)

実技・筆記試験において60%に満たない試験があり、かつ筆記・実技合計点数が60%に満たないものは実技試験・口頭質疑を再試験として課す。

【授業計画】

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	佐々木 亮平	理学療法評価とは 関節可動域測定・総論	理学療法評価総論 目的と意義、過程について 関節可動域を評価する意義、目的、過程 関節制限・最終感について
2	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 肘関節	オリエンテーション、用手接触について 肘関節 屈曲・伸展
3	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 肩関節	肩関節 屈曲・伸展・内転・外転
4	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 肩関節②	肩関節 外旋・内旋・水平屈曲・水平伸展
5	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 肩甲骨	肩甲骨 屈曲・伸展・挙上・下制
6	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 手関節	橈骨手根関節 掌屈・背屈・尺屈・尺伸
7	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 前腕 肘関節	前腕 回外・回内 肘関節 屈曲・伸展
8	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 肘関節②	肘関節 内転・外転・内旋・外旋
9	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 肘関節 足関節	肘関節 屈曲・伸展 足関節 背屈・底屈
10	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 足関節② 足部	足関節 内転・外転 足部 回内・回外
11	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 足趾	中足趾関節・近位趾趾関節・遠位趾趾関節 屈曲・伸展
12	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 手指 足趾②	中手指趾関節・近位指趾関節・遠位指趾関節 屈曲・伸展・外転・内転
13	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 頸部 胸鎖部	頸部 屈曲・伸展・回外・回内 胸鎖部 屈曲・伸展・回外・回内
14	実技教室	佐々木 亮平	関節可動域測定・各関節 その他の測定方法	メジャーを用いた測定、三関節角度計の紹介 症例演習
15	実技教室	佐々木 亮平	症例演習	症例演習 単位時間内での測定とその工夫、患者への対応
16	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査総論:意義・目的・原則 徒手筋力検査:肘関節伸展
17	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肘関節屈曲・伸展・外転
18	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肘関節屈曲と外転・内転・外内旋
19	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:屈曲・外転・外旋と肘関節屈曲、肘関節屈曲、足関節屈曲
20	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:足関節背屈と内がえし、足関節内がえし、足関節屈曲と外がえし
21	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肩甲骨外転と上方外旋、肩甲骨挙上、肩甲骨内転
22	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肩甲骨下制と内転、肩甲骨下制と下方回外、肩関節屈曲
23	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肩関節外転、肩関節伸展、肩関節水平外転
24	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肩関節水平内転、肩関節外旋・内旋
25	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:肘関節屈曲、肘関節伸展、前腕回外・回内
26	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査:手関節掌屈、手関節背屈、頸部・頸部伸展
27	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査法:頸部・頸部屈曲・体幹伸展
28	実技教室	佐々木 亮平	徒手筋力測定	徒手筋力検査法:体幹屈曲・体幹回外
29	実技教室	佐々木 亮平	測定から評価への発展	四肢長・四肢周径測定との統合と解釈
30	実技教室	佐々木 亮平	演習	演習 単位時間内での測定とその工夫、メモについて

【専門分野 理学療法評価学】

科目名	理学療法評価学Ⅱ										
担当氏名	坂田 晋一										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									
	DP3	他（多）職種との連携を遂行し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
	DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

【一般教育目標(GIO)】

神経学的検査を実施するために、その意義・メカニズムを理解し、方法を習得する。

【テキスト】

1. 内山靖：『図解理学療法検査測定ガイド第3版』文光堂：2023
2. 松澤正：『理学療法評価学 改訂第6版』金原出版：2021

【参考図書】

鈴木則宏：『神経診察クロズアップ-正しい病巣診断のコツ 改訂第3版』、メディカルビュー社、2015年。
田崎義昭他著：『ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版』、南山堂、2016年。

医療情報科学研究所：『病気がみえるvol.7脳・神経 第2版』、メ

【学生の留意点】

- ・解剖・運動・生理学の知識が前提です。十分復習しておくこと。
- ・必要に応じてオンデマンド資料等配信した場合は都度、指示する。
- ・爪、髪型など専門職に適した身だしなみで臨むこと。
- ・実技は半袖・ハーフパンツの格好に着替え、マスクを着用すること。
- ・各国の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

【実務経験のある教員による科目】

当該分野における理学療法士としての実務経験を生かした科目としている。

【行動目標(SBOs)】

1.各検査の定義・目的・原則を説明できる。2.各検査の適切なインテリジェンスを実施し、一般的な測定手順、注意点、力加を説明できる。3.検査結果の記録方法、測定器具の使用方を説明、使用できる。4.各神経学的検査と障害・疾患の関係、神経解剖・生理学的背景を説明できる。5.検査時、適切な肢位にて、適切な抵抗/刺激を与えることができる。

【期末試験実施について】

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

【成績評価の方法】

実技試験(50点)、筆記試験(50点)にて評価する。下記に1つでも該当する場合、再試験を課す。①実技試験得点率60%未満、②筆記試験得点率60%未満、③合計得点60点未満。なお、本科目は臨床実践能力の習得に加え、基礎知識に基づいて判断する知識の習熟も重視しているため、再試験は筆記試験・実技試験ともに実施する。

【授業計画】

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	坂田	総論	神経学的検査とは、麻痺の分類、中枢神経・末梢神経
2	講義教室	坂田	総論	神経学的検査とは、麻痺の分類、中枢神経・末梢神経
3	講義教室	坂田	意識障害	意識障害の診かた、疼痛
4	講義教室	坂田	意識障害	意識障害の診かた、感覚
5	実技教室	坂田	知覚検査	知覚検査の意義、手順、注意事項、実技（触覚・痛覚・温度覚）
6	実技教室	坂田	知覚検査	知覚検査の意義、手順、注意事項、実技（触覚・痛覚・温度覚）
7	実技教室	坂田	知覚検査	知覚検査実技（深部覚、複合感覚）
8	実技教室	坂田	知覚検査	知覚検査実技（深部覚、複合感覚）
9	実技教室	坂田	反射検査	反射とは、深部腱反射、表在反射、病的反射
10	実技教室	坂田	反射検査	反射とは、深部腱反射、表在反射、病的反射
11	実技教室	坂田	反射検査	反射検査実技（深部腱反射、表在反射、病的反射）
12	実技教室	坂田	反射検査	反射検査実技（深部腱反射、表在反射、病的反射）
13	実技教室	坂田	筋緊張検査	筋緊張のメカニズム、筋萎縮、評価の方法
14	実技教室	坂田	筋緊張検査	筋緊張のメカニズム、筋萎縮、評価の方法
15	実技教室	坂田	筋緊張検査	筋緊張検査実技、筋萎縮評価実技
16	実技教室	坂田	筋緊張検査	筋緊張検査実技、筋萎縮評価実技
17	実技教室	坂田	協調性検査①	協調性検査とは、方法と手順
18	実技教室	坂田	協調性検査②	協調性検査の方法と手順
19	実技教室	坂田	片麻痺機能検査①	片麻痺機能検査とは、方法と手順
20	実技教室	坂田	片麻痺機能検査②	片麻痺機能検査、スピードテスト
21	実技教室	坂田	姿勢反射・バランス検査①	姿勢反射検査とは、バランスの定義
22	実技教室	坂田	姿勢反射・バランス検査②	姿勢反射・バランス検査
23	実技教室	坂田	脳神経検査①	脳神経検査とは、方法と手順
24	実技教室	坂田	脳神経検査②	脳神経検査の方法と手順
25	実技教室	坂田	高次脳検査・認知症	高次脳検査・認知症
26	実技教室	坂田	高次脳検査・認知症	高次脳検査・認知症
27	実技教室	坂田	症例検討①	症例検討 演習
28	実技教室	坂田	症例検討②	症例検討 演習
29	実技教室	坂田	症例検討③	症例検討 演習
30	実技教室	坂田	症例検討④	症例検討 演習

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	運動療法学										
担当者氏名	中村 壮太										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて、 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

各理学療法治療学を発展させるために、理学療法的主要な治療法である運動療法を習得する。

《テキスト》

特に指定なし。

《参考図書》

市橋則明編集：『運動療法学～障害別アプローチの理論と実際～第2版』、文光堂、2014。

奈良勲：関節可動域。運動と医学の出版社、2023。

《行動目標(SBOs)》

- 1.運動療法の効果を上げることができ、中止基準を説明できる。
- 2.各種ストレッチングを実践できる。
- 3.原理原則に沿った筋力増強練習を実践できる。
- 4.全身持久力と局所持久力に対する運動療法を実践できる。
- 5.筋緊張を落とし、リラクゼーションさせることができる。
- 6.理想的なアライメントを理解し、姿勢誘導できる。

《期末試験実施について》

実施する

(＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

筆記試験50％・実技試験50％

《学生の留意点》

運動療法学を学ぶ前に、運動学、解剖学、生理学などの基礎医学の知識が必要となります。復習をしっかりとした上で、動きやすい服装で参加してください。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を治療学の知識・技術獲得のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	中村	理学療法士の治療	他職種の治療、理学療法士の治療 運動療法とは何か、運動療法の中止基準
2	実技教室	中村	関節可動域低下に対する理論	関節可動域が低下するとは、関節可動域制限の定義 関節可動域練習の効果と理論
3	実技教室	中村	関節可動域低下に対する運動療法①	6大関節に対するストレッチ
4	実技教室	中村	関節可動域低下に対する運動療法②	6大関節に対するストレッチ
5	実技教室	中村	関節可動域低下に対する運動療法③	6大関節に対するストレッチ
6	実技教室	中村	筋力低下に対する理論	筋力が低下する原因 筋力増強練習の効果と理論 RMとは 筋力増強練習の原理と原則
7	実技教室	中村	筋力低下に対する運動療法①	特異性の原理と過負荷の原理を用いた筋力増強練習
8	実技教室	中村	筋力低下に対する運動療法②	特異性の原理と過負荷の原理を用いた筋力増強練習
9	実技教室	中村	筋持久力低下に対する理論	筋持久力・局所持久力とは何か、筋持久力の診かた、筋持久力に対する運動療法
10	実技教室	中村	持久力低下に対する理論	運動負荷試験と運動負荷の評価
11	実技教室	中村	リラクゼーション	筋弛緩の定義、筋弛緩の目的、筋弛緩の方法
12	実技教室	中村	姿勢調整	理想的な姿勢アライメント、姿勢障害に対する運動療法をどのように進めるか
13	実技教室	中村	歩行練習	歩行練習で使用する器具の紹介 跛行と歩行練習について
14	実技教室	中村	運動学習	運動学習の理論
15	実技教室	中村	運動学習	運動学習 演習

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	日常生活活動論										
担当者氏名	長屋 悦										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の悪いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を確立し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

適切な日常生活活動の支援を実現させるために、理学療法士の観点から無意識に行っている日常生活活動を分析・評価し、対象者それぞれの生活の質を維持・向上できるように治療技術を習得する。また、補助員の処方・指導を実施できるようになるために、目的や使用方法を理解する。

《テキスト》

“奈良野監修：『日常生活活動学・生活環境学』、医学書院、千野一徳：『超卒中の機能評価-SIASとFIM「基礎編」』、医歯出版、2016年。並引用文献として「応用編」

《参考文献》

《行動目標(SBOs)》

1. 日常生活活動の概念、範囲（セルフ、移動、コミュニケーション、ADL）が説明できる。
2. 代表的なADL評価の各特徴を説明し実施できる。
3. セルフの動作分析ができる（観察者）
4. 歩行・移動補助員や車椅子の処方・指導ができる。
5. 動作の介助を標準的な方法で実施できる。
6. 代表的な疾患や症状にADL指導ができる

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

＜講義と実技授業で構成されます＞

筆記試験 70% 実技試験30%

＜感染症対策等で制限があった場合＞

同時双方向やオンデマンド授業になることもあります。

指定された時間内に課題を提出しないと欠席になります。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	長屋	コース・オリエンテーション	オリエンテーション・日常生活の概念・範囲/CFによる理学療法評価
2	講義教室	長屋	ADLの概念	ADLの概念/CFによる理学療法評価（作成）/セルフケア
3	講義教室	長屋	ADLを評価する1	できるADLとしているADL目標とするADL/「できる」の定義
4	講義教室	長屋	ADLを評価する2	量的評価（BI）自立度を使用した日常生活活動の評価/質的評価と量的評価
5	講義教室	長屋	ADLを評価する3	量的評価（FIM）1
6	講義教室	長屋	ADLを評価する4	量的評価（FIM）2
7	講義教室	長屋	ADLを評価する5	量的評価（FIM）3
8	実技教室	長屋	移動補助員1	移動補助員の種類と対応1(車椅子)/車いすメンテナンス
9	実技教室	長屋	移動補助員2	移動補助員の種類と対応2(杖・松葉杖その他 障害物 階段)
10	実技教室	長屋	移動補助員3	移動補助員の種類と対応3(杖・松葉杖その他 障害物 階段)起き上がり/立位
11	実技教室	長屋	無意識のADLを視覚化してみよう	起き上がり
12	実技教室	長屋	移乗動作介助 2人全介助	移乗・移動動作を誘導する(全介助/2人：全介助/タオル1人：起き上がり/1人)
13	実技教室	長屋	移乗動作介助 軽介助	移乗・移動動作を誘導する(軽介助)
14	実技教室	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する(全介助)
15	実技教室	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する(全介助)
16	実技教室	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/リスク管理）
17	実技教室	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/リスク管理）
18	実技教室	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/リスク管理）
19	実技教室	長屋	移乗動作介助 環境整備	特殊な移乗・移動介助(介助バー・ずり落ち修正・T/B・リフター)
20	実技教室	長屋	移乗動作介助 環境整備	特殊な移乗・移動介助(介助バー・ずり落ち修正・T/B・リフター)
21	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域1	グループワーク1 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
22	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域2	グループワーク2 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
23	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域3	グループワーク3 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
24	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域4	グループワーク4 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
25	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域5	グループワーク5 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
26	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域6	グループワーク6 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
27	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域発表	グループ発表
28	講義教室	長屋	ADLに必要な可動域発表	グループ発表
29	実技教室	長屋	移動困難な状況とは1	移動介助の応用編（THA）
30	講義教室	長屋	移動困難な状況とは2	高齢者とADL（フルタイム/パートタイム/リタイアメントなど）

《学生の留意点》

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《専門分野 地域理学療法学》

科目名	地域理学療法学										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法士が医療機関内に留まることなく、実生活での対象者に対して支援を行うために必要な知識を修得する。また、地域包括ケアシステムが展開されている現在、理学療法領域の広がりを見据えて、介護予防・健康増進・さらには災害時支援・国際支援、行政と視野を広げた医療機関以外での多くの活動を理解する。

①地域におけるPTの役割、および多職種連携について説明できる。②災害時や国際支援に対するPTの役割について説明できる。③健康維持・介護予防に対するPTの役割について説明できる。④緩和ケア・終末期におけるPTの役割について説明できる。⑤産業理学療法におけるPTの役割について説明できる。⑥学校保健や特別支援教育におけるPTの役割について説明できる。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

課題100%

提出期限を過ぎた場合は採点されません。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	長屋	授業オリエンテーション	コースオリエンテーション/評価方法/授業準備について/歴史
2	講義教室	田島	介護保険サービス/介護予防の階層	(田島敬之：東京都立大学 健康福祉学部・人間健康科学研究科 准教授) 地域とは/地域理学療法/CBRの概念/1次予防/2次予防/3次予防/他
3	講義教室	田島	地域包括ケアシステム	(田島敬之：東京都立大学 健康福祉学部・人間健康科学研究科 准教授) 地域包括ケアシステム/地域ケア会議/他
4	講義教室	長屋	訪問における理学療法士	(長屋説：訪問看護ステーション ふれあい21 理学療法士) 訪問リハビリテーションでの理学療法士の役割
5	講義教室	定森	国際支援における理学療法	(定森みちる：理学療法士)～JICAでの活動について～ 国際支援における理学療法士の役割/国際支援に関わる基盤について
6	講義教室	長屋	介護予防における理学療法士	(長屋説：JAセラサ介護予防教室 理学療法士) 介護予防における理学療法士の役割
7	講義教室	山崎	行政における理学療法士	(山崎隆：大和市役所 総合事業担当 理学療法士)～事例紹介～ 行政における理学療法士の機能と役割
8	講義教室	長屋	入所施設/通所施設の理学療法士	(長屋説：高齢者在宅支援センター 非常勤 理学療法士 ～2020年施設終了) 入所・通所施設での理学療法士の役割
9	講義教室	込山	緩和ケア・終末期医療における理学療法	(込山志保子：杏雲堂病院 終末期・緩和ケア病棟)～がん患者さんのリハビリテーション～ 緩和ケアにおける理学療法士の役割/終末期医療における理学療法士の役割
10	講義教室	長屋	健康維持、健康増進における理学療法士	(長屋説：八王子体操教室 理学療法士) 健康維持、健康増進における理学療法士の役割
11	講義教室	中山	特別支援教育における療法師の役割	(中山雅和：特別支援教育 小金井市発達支援センター 療法師) 特別支援教育における理学療法士の役割/特別支援教育での業務について
12	実技教室	長屋	健康維持、健康増進における理学療法士2	(長屋説：八王子体操教室 理学療法士) 体力測定会(講義)
13	講義教室	田舎中	ウィメンズヘルス メンズヘルス	(田舎中真由美：日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 教育担当理事)(仮) ライフステージとQOL(仮)
14	講義教室	外来講師	災害時の理学療法	大規模震災時における活動支援/災害時における理学療法士の役割
15	講義教室	長屋	産業理学療法	(長屋説：日本産業理学療法研究会 会員 理学療法士) 産業理学療法における理学療法士の役割

《テキスト》

資料を配付。

《参考図書》

- ・地域理学療法学,メジカルビュー
- ・ゴールドマスターテキスト 地域理学療法学,メジカルビュー
- ・地域理学療法学テキスト, 学術研究出版
- ・最新 理学療法学講座 地域理学療法学, 医歯薬出版

《学生の留意点》

・今後の感染症対策の関係で、授業内容や評価方法が変更になることがあります。

・地域の中のどのような場面や方法で、理学療法士としての役割を発揮できるのか、興味や理解を深めてください。

・各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、医療機関外で視野の広い活動をされている理学療法士(外部講師：理学療法士)と長屋(専任教員：理学療法士)が担当し、実務経験を活かした授業としています。

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅰ										
担当者氏名	福田 崇										
授業方法	実習	単位数	2	回数	-	時間数	90	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習指導者の指導のもと、学内で習得した検査・測定技術を臨床の中で実施し、結果の原因分析や解釈を行う。また、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を学ぶ。さらに、理学療法士および医療専門職として、適切な態度や行動を養うことを目的とする。

《テキスト》

《参考図書》

《行動目標(SBOs)》

- 1.基本的検査手技が実施できる。
- 2.検査結果の解釈を述べることができる。
- 3.各検査間の関連性を言える。
- 4.起居、移乗・移動動作などの介助が行える。
- 5.地域リハビリテーション事業について説明できる。

《学生の留意点》

《期末試験実施について》

実施しない

《実務経験のある教員による科目》

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

当該分野における理学療法士が、その実務経験を活かした科目となっている。

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポー

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1				・2～3月の2週間 (45h*2). ・地域リハビリテーション施設での見学(1週間)と検査測定技術の体験(1週間)を実施。
2				肢長・周径測定、ROMテスト、徒手筋力テスト、神経学的テストなどの検査測定の実施と記録を数多く実施させる。
3				実施した検査測定項目ごとに、正常から逸脱した結果を抽出させ、知識の範囲内で原因分析をさせる。
4				各検査間の関連性を考察させる。
5				標準的な方法で起居動作介助や移乗・移動動作などの介助を数多く実習させる。
6				地域リハビリテーションの現場を見学する。
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				実習後セミナー

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	疾病管理論										
担当者氏名	山川 美雪、村田 恵子										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

医療職である療法師として疾病予防とその管理を理解するために、栄養学、臨床薬学、救急救命医学を学ぶ。

《テキスト》

麻直美、塚原典子：『好きになる栄養学』 第3版、講談社サイエンティフィック、2020年。

《参考図書》

『リハビリテーション栄養ポケットガイド』（配布）

《行動目標(SBOs)》

1. 栄養学の基礎知識と医療現場での栄養療法の基礎を理解できる。
2. 薬の概要を学び、生体内動態を理解できる。
3. 応急手当を実施できる。

《学生の留意点》

理学療法業務の中で、遭遇する重要な知識、技術を扱います。短期間ですが、集中して習得してください。よく分からないことやもっと知りたいことを沢山つくり、各講師と対話をするようお願いいたします。なお、上級救命講習は、1～4限を終日行う集中授業で開講します。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

《実務経験のある教員による科目》

実務経験がある管理栄養士、薬剤師、そして救急救命士が担当する。

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

栄養学、臨床薬学、救急救命医学がそれぞれ1/3ずつ評価し、合算の上、評定をつける。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	山川	栄養学①	栄養学概論（栄養とは・消化と吸収）
2	講義教室	山川	栄養学②	栄養素の種類と機能Ⅰ（三大栄養素）
3	講義教室	山川	栄養学③	栄養素の種類と機能Ⅱ（ビタミン・ミネラル）
4	講義教室	山川	栄養学④	運動と栄養（エネルギー代謝・スポーツ栄養）
5	講義教室	山川	栄養学⑤	リハビリテーション栄養（リハビリテーション栄養とは・栄養評価・栄養ケアプロセス）
6	講義教室	村田	臨床薬学①	薬とは
7	講義教室	村田	臨床薬学②	薬の分類
8	講義教室	村田	臨床薬学③	薬の生体内動態（吸収、分布）
9	講義教室	村田	臨床薬学④	薬の生体内動態（代謝、排泄）
10	講義教室	村田	臨床薬学⑤	疾患に対する薬物療法
11	実技教室	消防	救命救急医学①	上級救命講習① 心肺蘇生①
12	実技教室	消防	救命救急医学②	上級救命講習② 心肺蘇生②
13	実技教室	消防	救命救急医学③	上級救命講習③ AED①
14	実技教室	消防	救命救急医学④	上級救命講習④ AED②
15	実技教室	消防	救命救急医学⑤	上級救命講習⑤ 応急手当

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床運動学										
担当者氏名	榎田 崇										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、喜びや哀しみに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を確立し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯学習し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

動作における問題点を抽出できるようになるために、理学療法士における動作観察・分析の位置づけを理解し、健康者や患者の姿勢観察・分析、動作観察・分析の方法を理解する。

《行動目標(SBOs)》

- 1.姿勢と動作の観察に必要な用語を使うことができる。
- 2.基本姿勢・動作について、観察により発見した特徴を指図（図示）することができる。
- 3.基本動作における活動の評価ができる。
- 4.基本動作における活動と健康状態を関連付けし説明できる。
- 5.基本動作における活動と心身機能・身体構造を関連付けし説明できる。

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

ミニツブーパー・小テスト40%+筆記試験60%で評価する。
合計が60%未満の場合には筆記試験による再試験対応となる。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	福田	動きに関する概要1	動きを考える対象と側面
2	実技教室	福田	動きに関する概要2	動きの研究、理学療法士にとっての動き
3	実技教室	福田	動きの評価1	動きの評価
4	実技教室	福田	動きの評価2	動きを評価する視点と基準
5	実技教室	福田	動きの評価3	理学療法士が動きを評価する視点
6	実技教室	福田	動きの評価4	理学療法士が動きを評価する基準
7	実技教室	福田	臥位動作のメカニズム1	臥位動作における身体運動
8	実技教室	福田	臥位動作のメカニズム2	臥位動作に必要な身体構造と心身機能
9	実技教室	福田	臥位動作の評価1	臥位動作の日常生活動作的評価
10	実技教室	福田	臥位動作の評価2	臥位動作の異常動作的評価
11	実技教室	福田	臥位動作の評価3	臥位動作の運動学的評価
12	実技教室	福田	臥位動作の評価4	臥位動作の評価まとめ
13	実技教室	福田	座位動作のメカニズム1	座位動作における身体運動
14	実技教室	福田	座位動作のメカニズム2	座位動作に必要な身体構造と心身機能
15	実技教室	福田	座位動作の評価1	座位動作の日常生活動作的評価
16	実技教室	福田	座位動作の評価2	座位動作の異常動作的評価
17	実技教室	福田	座位動作の評価3	座位動作の運動学的評価
18	実技教室	福田	座位動作の評価4	座位動作の評価まとめ
19	実技教室	福田	立位動作のメカニズム1	立位動作における身体運動
20	実技教室	福田	立位動作のメカニズム2	立位動作に必要な身体構造と心身機能
21	実技教室	福田	立位動作の評価1	立位動作の日常生活動作的評価
22	実技教室	福田	立位動作の評価2	立位動作の異常動作的評価
23	実技教室	福田	立位動作の評価3	立位動作の運動学的評価
24	実技教室	福田	立位動作の評価4	立位動作の評価まとめ
25	実技教室	福田	移動動作のメカニズム1	移動動作（歩行、走行）における身体運動
26	実技教室	福田	移動動作のメカニズム2	移動動作（歩行、走行）に必要な身体構造と心身機能
27	実技教室	福田	歩行の評価1	歩行の日常生活動作的評価
28	実技教室	福田	歩行の評価2	歩行の異常動作的評価
29	実技教室	福田	歩行の評価3	歩行の運動学的評価
30	実技教室	福田	歩行の評価4	歩行の評価まとめ

《テキスト》

基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版（6800円）

《参考文献》

日常生活活動の分析 身体運動学的アプローチ 第2版 南江堂
（6380円）観察による歩行分析 医学書院（5000円）介護にいかす
バイオメカニクス 医学書院（4095円）PT・OTビジュアルテキスト
姿勢・動作・歩行分析 単土社（5000円）脳卒中片麻痺の基本動作分
析 メジカルビュー社（5940円）
図解理学療法検査・測定ガイド 第3版 文光堂（10,890円）

《学生の留意点》

- ・演習時は動作観察し正しい冠履に着替えること。
- ・講義の進捗状況によって単元が入れ替わることがあります。
- ・演習時は能動的に学習を実施し、他同学習者とともにより良い学びとなるよう努力すること。
- ・講義内外に積極的に観て、考えて、書くことが上述に於けりますので毎回筆記具を持参してください。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を姿勢や動作の観察・分析のために活かした授業としている。

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅲ										
担当者氏名	中村 壮太										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅱ（評価実習）の目標を達成するために、基本動作介助、検査測定技術や臨床推論についての振り返りを行う。また、臨床実習Ⅱについて振り返り、各々の課題を見つけることができ、臨床実習Ⅲまでに学修すべき内容と学修プランを挙げられる。

《テキスト》

特に指定なし。

《参考図書》

特に指定なし。

《行動目標(SBOs)》

- 1.臨床実習Ⅱ（評価実習）の目的を説明できる。
- 2.基本的な「基本動作介助」を実施できる。
- 3.基本的な「検査測定」を実施できる。
- 4.検査測定結果の解釈や統合が実施できる。
- 5.動作観察と分析が実施できる。

《学生の留意点》

評価実習に向けての演習となるため、検査・測定方法の予習・復習を必ず行うこと。また、臨床推論学修に必要な基礎科目も適宜確認・復習することが望ましい。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

実技試験50% 提出課題50%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	中村	理学療法検査測定	バイタルサイン/基本動作介助
2	実技教室	中村	理学療法検査測定	四肢長周径/基本動作介助
3	実技教室	中村	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
4	実技教室	中村	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
5	実技教室	中村	理学療法検査測定	対象者を想定し一連の流れの中で検査測定を実施
6	実技教室	中村	理学療法プロセス（臨床思考過程）	情報収集について
7	実技教室	中村	理学療法プロセス（臨床思考過程）	問題点抽出/目標設定/プログラム立案
8	実技教室	中村	理学療法プロセス（臨床思考過程）	問題点抽出/目標設定/プログラム立案
9	実技教室	中村	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
10	実技教室	中村	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
11	実技教室	中村	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例の記録（カルテ）」の書き方 ～SOAPを深める～
12	実技教室	中村	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例のまとめ」の書き方 ～動作と機能の関連性～
13	実技教室	中村	実習オリエンテーション	臨床実習Ⅱの目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
14	講義教室	中村	実習後セミナー	実習の振り返り
15	講義教室	中村	実習後セミナー	臨床実習報告会/臨床実習Ⅲに向けて

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	理学療法評価学Ⅲ										
担当者氏名	沼尾 拓、 森田 浩章、伊東 彰										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

妥当な理学療法評価を実施するために、画像情報や臨床検査情報の結果を理解する。

《行動目標(SBOs)》

- 1.画像情報の正常と異常所見が判別できる。
- 2.血液学的/生化学検査の基準値と異常値が判別でき、異常の原因を説明できる。
- 3.生体機能検査の基準値と異常値が判別でき、異常の原因を説明できる。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験100%

60%未満の場合は再試験を課す。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	沼尾	総論	理学療法評価のふりかえり、画像情報/臨床検査の概要、理学療法評価における画像情報/臨床検査の意義
2	講義教室	森田	運動器系画像情報①	脊椎
3	講義教室	森田	運動器系画像情報②	上肢
4	講義教室	森田	運動器系画像情報③	骨盤・下肢
5	講義教室	森田	血液学的検査	血球検査、血栓/止血検査
6	講義教室	森田	生化学検査	ホルモン系、肝/胆/腎/膵系、タンパク/酵素系、糖質/脂質系、電解質/血液ガス、尿、腫瘍マーカー、免疫系
7	講義教室	沼尾	生体機能検査①	超音波検査、呼吸機能検査、心電図
8	講義教室	沼尾	生体機能検査②	筋電図、基礎代謝
9	講義教室	沼尾	循環器系画像情報	心不全、大動脈瘤/大動脈解離、深部静脈血栓症
10	講義教室	沼尾	呼吸器系画像情報	肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、気胸
11	講義教室	沼尾	中枢神経系画像情報①	脳画像の基本的見方
12	講義教室	沼尾	中枢神経系画像情報②	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、硬膜下・硬膜外出血 正常圧水頭症、脳腫瘍、認知症、神経変性疾患
13	講義教室	伊東	症例検討①	症例を通して、理学療法評価への画像情報と臨床検査情報の活用を学ぶ
14	講義教室	伊東	症例検討②	症例を通して、理学療法評価への画像情報と臨床検査情報の活用を学ぶ
15	講義教室	沼尾	まとめ	コース全体の「ふりかえり」と理学療法臨床推論への接続を考察する

《テキスト》

石川朗編：『15レクチャーシリーズ リハビリテーションテキスト 画像評価学』.中山書店、2024

《参考図書》

水間正澄/川手信行：『リハビリテーション医療に活かす画像のみかた』.南江堂.2019. 宮越浩一編：『画像評価』. 医学書院、2021. 高木康他編：『標準臨床検査医学』第4版、医学書院 2013、美津島隆他監修：『リハ斯塔ッフのためのイチからわかる臨床検査活用術』、メディカルビュー
 《学生の留意点》
 安全な理学療法を遂行する上で必須の情報である画像、血液検査、生理検査を理解することは、病態の理解や理学療法の効果判定に欠かせません。解剖学、生理学、病理学、臨床医学の復習をしながら、学習をすすめてください。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	理学療法臨床推論										
担当者氏名	藤川 明代										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

適切な治療を提供できるようになるために、理学療法評価の位置づけや流れを理解し、症例検討を通じて理学療法評価における一連の流れ、臨床推論を理解、実践する。

《テキスト》

資料を配布する。

《参考図書》

"千住秀明監修：『理学療法学テキストⅡ 理学療法評価法第3版』，神陵文庫，2011年。
内山靖：『標準理学療法学（理学療法評価学）第2版』，医学書院，2004年。"

《行動目標(SBOs)》

1. 評価の各項目（情報収集・問題点の抽出・目標設定・プログラム立案）について説明できる。
2. 検査測定結果に意味づけをおこなうことができる。
3. 検査測定結果や情報の統合を行い、問題点を抽出できる。
4. 目標設定・治療計画立案を行うことができる。

《学生の留意点》

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

期末試験(60%)，レポート課題(40%)

再試験要件 期末試験(60%)と課題(40%)の合計100点のうち合計60点未満の者は再試験とする。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	藤川	理学療法評価・臨床推論とは	臨床推論オリエンテーション／理学療法プロセス（一連の流れ）を理解する
2	講義教室	藤川	各種情報と情報収集	各種情報について理解し、情報収集の方法を知る
3	講義教室	藤川	模擬症例の想定	各種情報を踏まえ、模擬症例を想定する
4	講義教室	藤川	医学的情報からわかること	医学的情報の解釈
5	講義教室	藤川	検査結果からわかること①	理学療法評価結果の解釈 ～機能障害～
6	講義教室	藤川	検査結果からわかること②	理学療法評価結果の解釈 ～動作～
7	講義教室	藤川	検査結果からわかること③	理学療法評価結果の解釈 ～検査間のつながりを意識する～
8	講義教室	藤川	問題点抽出の方法	問題点抽出の方法を学ぶ/ICFの利用について
9	講義教室	藤川	問題点抽出の実際①	関連図を利用して問題点を整理する
10	講義教室	藤川	問題点抽出の実際②	統合と解釈の文章化の方法
11	講義教室	藤川	目標設定・プログラム立案の方法	目標設定、プログラム立案の方法
12	講義教室	藤川	目標設定・プログラム立案の実際	目標設定、プログラム立案を実施する
13	講義教室	藤川	考察・レジュメ	考察の書き方について/レジュメの作成方法について
14	講義教室	藤川	症例報告会①	症例報告会の方法/レジュメ作成・症例報告会の準備
15	講義教室	藤川	症例報告会②	症例報告会の実施

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	運動器系理学療法学										
担当者氏名	中村 壮太、坂田 晋一										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、喜びや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他(多)職種との連携を確立し、共に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

運動器障害に対する理学療法評価および治療立案および実施するために、代表的な整形外科疾患の病態と障害に対する検査測定および治療プログラムを身につける。

《テキスト》

神野哲也：ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション、羊土社、2012。

《参考文献》

井植崇二：標準整形外科 第15版、医学書院、2023。
S.Hoppenfeld：図解 四肢と背椎の診かた、医歯出版、1984。
市橋則明編：運動療法 第2版、文光堂、2014。
病気がみえるvol.11運動器・整形外科、MEDEC MEDIA、2017

《学生の留意点》

授業前に、半袖ハーフパンツの格好・実技履修の準備・感染対策をお願いします。以下の注意点を気を付けながら、実技を習得すること。①事前準備 ②オリエンテーション ③体位確認 ④触れ方 ⑤動かし方 ⑥動作指示 ⑦検査測定 ⑧治療 ⑨記録 ⑩結果説明 ⑪片付け、また見づらき等の工夫や配慮をしてありますが行き届かない点もあるためお声掛け下さい。

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

・本科目は中村壮太、坂田晋一（理学療法士）が担当し、その実務経験を授業に反映している。

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

再々試験を除き実技試験100%（評価2・治療1以上）身だしなみ不良、部位・左右間違いは0点、妥当性（触診位置、運動方向、抵抗方向、軸、ストレス量、荷重、速度）信頼性（触診、左右間違え、不適切な抵抗・運動方向、四肢の検査後の位置、ROM最終域不十分、MMT可動域確認不足、落下・転倒・転落、脱臼）等で評価。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	坂田	授業説明・総論①	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療
2	実技教室	坂田	授業説明・総論②	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療
3	実技教室	坂田	下肢各論①	股関節の評価・治療
4	実技教室	坂田	下肢各論②	股関節の評価・治療
5	実技教室	坂田	下肢各論③	股関節の評価・治療・症例問題
6	実技教室	坂田	下肢各論④	股関節の評価・治療・症例問題
7	実技教室	坂田	下肢各論⑤	膝関節・下腿の評価・治療・症例問題
8	実技教室	坂田	下肢各論⑥	膝関節・下腿の評価・治療・症例問題
9	実技教室	中村	下肢各論⑦	足関節・足部の評価・治療・症例問題
10	実技教室	中村	下肢各論⑧	足関節・足部の評価・治療・症例問題
11	実技教室	森田	スポーツ理学療法①	スポーツ損傷・外傷に関わる理学療法（森田）※テーピング
12	実技教室	森田	スポーツ理学療法②	スポーツ損傷・外傷に関わる理学療法（森田）※テーピング
13	実技教室	中村	上肢各論①	肩関節の評価・治療・症例問題
14	実技教室	中村	上肢各論②	肩関節の評価・治療・症例問題
15	実技教室	中村	上肢各論③	肘関節の評価・治療・症例問題
16	実技教室	中村	上肢各論④	肘関節の評価・治療・症例問題
17	実技教室	中村	上肢各論⑤	手関節・手部の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
18	実技教室	中村	上肢各論⑥	手関節・手部の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
19	実技教室	中村	体幹各論①	上部背椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
20	実技教室	中村	体幹各論②	上部背椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
21	実技教室	中村	体幹各論③	下部背椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
22	実技教室	中村	体幹各論④	下部背椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
23	実技教室	坂田	評価・治療技能習得①	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療 ～臨床実習に向けて～
24	実技教室	坂田	評価・治療技能習得②	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療 ～臨床実習に向けて～
25	実技教室	中村	リウマチ各論①	関節リウマチの評価・治療・症例問題
26	実技教室	中村	リウマチ各論②	関節リウマチの評価・治療・症例問題
27	実技教室	坂田/ 中村	評価・治療技能習得③	代表的な評価技能の練習を行う
28	実技教室	坂田/ 中村	評価・治療技能習得④	代表的な治療技能の練習を行う
29	実技教室	宮田/ 佐藤	超音波画像診断と理学療法①	超音波画像診断装置を用いた理学療法（外部講師）
30	実技教室	宮田/ 佐藤	超音波画像診断と理学療法②	超音波画像診断装置を用いた理学療法（外部講師）

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	中枢神経系理学療法学Ⅰ										
担当者氏名	山形 哲行										
授業方法	講義・実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、喜びや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 伝（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

脳血管疾患の障害を理解し、その障害における評価方法についての知識・技術を習得し、基本的な介入方法を身につける

《テキスト》

理学療法学専門分野神経理学療法学第3版

《参考文献》

鈴木恒彦・紀伊克昌・真鍋清則 著：『脳卒中の臨床神経リハビリテーション』。市村出版。2016年。、櫻浦一郎・紀伊克昌・鈴木恒彦 著：『脳卒中の治療・実践神経リハビリテーション』。市村出版。2012年。、Oswald Steward 著 伊藤博信他訳：『機能的神経科学』。九思出版。2007年。、葛田昌夫 訳：『Steps to Follow』。シャブリンガ・フィッツ・ク東京。2005年。

《学生の留意点》

・実技についてはケースに着替え、感染対策を徹底して臨むこと。
・授業理解のために、解剖学などの基礎科目、評価学を復習すること。
・各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

実技試験（40％）、筆記試験（60％）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	山形	総論	脳血管障害のリハビリテーションの考え方、脳の解剖と生理
2	講義教室	山形	総論	脳血管障害のリハビリテーションの考え方、脳の解剖と生理
3	講義教室	山形	各論	脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血各論、脳画像の見方①
4	講義教室	山形	各論	脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血各論、脳画像の見方②
5	実技教室	山形	脳血管障害の評価	1次的機能障害のメカニズムとその評価
6	実技教室	山形	脳血管障害の評価	評価②
7	実技教室	山形	脳血管障害の評価	評価③
8	実技教室	山形	脳血管障害の評価	評価④
9	実技教室	山形	脳血管障害の評価	評価⑤
10	実技教室	山形	各論	嚥下・二次的障害（合併症）
11	実技教室	山形	各論	高次脳機能障害①
12	実技教室	山形	各論	高次脳機能障害②
13	実技教室	山形	脳血管障害の評価	高次脳機能障害③
14	実技教室	山形	脳血管障害の評価	高次脳機能障害④
15	実技教室	山形	治療の考え方	リスク管理① 治療の考え方
16	実技教室	山形	治療の考え方	リスク管理② ポジショニング（褥瘡）
17	実技教室	山形	治療学	動作介助① ＊片麻痺症例
18	実技教室	山形	治療学	動作介助②（背臥位～座位）
19	実技教室	山形	治療学	動作介助③（座位～車椅子移乗）
20	実技教室	山形	治療学	ハンドリングの基礎
21	実技教室	山形	治療学	背臥位～座位 《姿勢評価》
22	実技教室	山形	治療学	
23	実技教室	山形	治療学	座位～立位
24	実技教室	山形	治療学	
25	実技教室	山形	治療学	立位、バランス評価
26	実技教室	山形	治療学	
27	実技教室	山形	治療学	歩行の講義、歩行の実技
28	実技教室	山形	治療学	
29	実技教室	山形	治療学	歩行実技、EBPT
30	実技教室	山形	治療学	

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	中枢神経系理学療法学Ⅱ										
担当者氏名	山形 哲行										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

脳血管障害患者に対して理学療法を実施できるようになるために基礎的な治療技術を習得する。

《テキスト》

なし

《参考図書》

随時紹介していく。

《行動目標(SBOs)》

- 1.姿勢・動作改善のためのハンドリングが実施できる。
- 2.脳血管障害患者に対する評価から治療手段の選択までの一連の流れを組み立てる事ができる。
- 3.脳血管障害患者のADL改善のための治療手段を選択できる。
- 4.脳血管障害患者に対して、理学療法治療計画を立案し、一部を実施できる。

《学生の留意点》

- * 患者を想定し、動作の誘導方法を身に付けて欲しい。
- * 実技についてはジャージ・Tシャツ等で臨むこと。
- * より多くの学生と実技を行うこと。
- * 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(* 期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

実技課題 (40%)、筆記試験 (60%)

《実務経験のある教員による科目》

当科目は山形哲行（理学療法士）が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	山形	治療学総論①	脳血管障害患者の理学療法に必要な神経機構、治療戦略、ハンドリングの基本
2	実技教室	山形	治療学各論①	脳血管障害患者の理学療法評価
3	実技教室	山形	治療学各論②	ハンドリング：寝返り～起き上がり①
4	実技教室	山形	治療学各論③	ハンドリング：寝返り～起き上がり②
5	実技教室	山形	治療学各論④	ハンドリング：座位～立ち上がり①
6	実技教室	山形	治療学各論⑤	ハンドリング：座位～立ち上がり②
7	実技教室	山形	治療学各論⑥	バランス反応の再教育（座位バランス）
8	実技教室	山形	治療学各論⑦	バランス反応の再教育（立位バランス）
9	実技教室	山形	歩行の神経機構	歩行の神経学的背景について
10	実技教室	山形	治療学各論⑧	ハンドリング：歩行
11	実技教室	山形	治療学各論⑨	脳血管障害における失調症の治療
12	実技教室	山形	治療学各論⑩	半側空間無視の評価と治療
13	実技教室	山形	治療学各論⑪	片麻痺の上肢の評価と治療
14	実技教室	山形	症例検討	脳血管障害患者の模擬症例検討
15	実技教室	山形	症例検討	脳血管障害患者の模擬症例検討

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	発達系理学療法学										
担当者氏名	平井 孝明										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

代表的な小児疾患における発達障害領域の対象児に理学療法を実施するために、必要な評価・治療の実践を理解する。

《テキスト》

特に指定しない

《参考図書》

特に指定しない

《行動目標(SBOs)》

- 1.小児運動発達について説明できる。
- 2.小児疾患の特徴を理解できる。
- 3.臨床像より評価、問題点の指摘、治療の方向を提示できる。

《学生の留意点》

適時,実技を行いますので,服装に留意してください。また,授業終了時にレポートを提出していただきます。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(※ 期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

レポート30%,課題発表10%,期末試験60%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かせる授業内容で実施します。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	平井	オリエンテーション	オリエンテーション
2	実技教室	平井	小児理学療法	小児理学療法総論
3	実技教室	平井	小児理学療法	小児運動発達①
4	実技教室	平井	小児理学療法	小児運動発達②
5	実技教室	平井	小児理学療法	小児整形外科疾患①
6	実技教室	平井	小児理学療法	小児整形外科疾患②
7	実技教室	平井	小児理学療法	二分脊椎①
8	実技教室	平井	小児理学療法	二分脊椎②
9	実技教室	平井	小児理学療法	脳性麻痺 痙直型①
10	実技教室	平井	小児理学療法	脳性麻痺 痙直型②
11	実技教室	平井	小児理学療法	脳性麻痺 アテトーゼ型①
12	実技教室	平井	小児理学療法	脳性麻痺 アテトーゼ型②
13	実技教室	平井	小児理学療法	重症心身障害児①
14	実技教室	平井	小児理学療法	重症心身障害児②
15	実技教室	平井	小児理学療法	まとめ

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	神経筋系理学療法学										
担当者氏名	林 佑樹, 島田 英則										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

神経筋系障害の対象者へ効果的な理学療法を実施するために、妥当な評価に基づいて理学療法プログラムを立案し、実施できる。

《テキスト》

《参考図書》

潮見泰蔵：『PT・OTビジュアルテキスト 神経障害理学療法学 第2版』，羊土社，2024

《行動目標(SBOs)》

- ・神経筋系理学療法評価が実施できる。
- ・基本的な神経筋系理学療法プログラムを立案できる。
- ・基本的な神経筋系理学療法を実施できる。

《学生の留意点》

リハビリテーション医学・臨床神経学を復習し、各疾患の病態や特性を理解しながら授業に臨むようにしてください。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	林	神経障害理学療法学総論	中枢神経と末梢神経
2	講義教室	林	末梢神経障害①	上肢
3	講義教室	林	末梢神経障害②	下肢
4	講義教室	林	ヘルニア	病態、評価と治療
5	講義教室	林	脊髄損傷の基礎	脊髄損傷の病態
6	講義教室	林	脊髄損傷の実際	評価と治療
7	実技教室	林	治療実技	神経モビライゼーション・腹横筋トレーニング
8	講義教室	島田	Parkinson病	Parkinson病の病態
9	講義教室	島田	Parkinson病とその関連疾患	Parkinson病とその関連疾患の評価と治療
10	講義教室	島田	脊髄小脳変性症	脊髄小脳変性症の評価と治療
11	講義教室	島田	多発性硬化症	多発性硬化症の評価と治療
12	講義教室	島田	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーの評価と治療
13	講義教室	島田	筋萎縮性側索硬化症	筋萎縮性側索硬化症の評価と治療
14	講義教室	島田	多発性筋炎,皮膚筋炎	多発性筋炎,皮膚筋炎の評価と治療
15	講義教室	島田	ギランバレー症候群,重症筋無力症	ギランバレー症候群,重症筋無力症の評価と治療

【専門分野 理学療法治療学】

科目名	物理療法学										
担当者氏名	坂田 晋一										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2 DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									
	DP3 DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
	DP4 DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門性の発展のために行動できる人									

【一般教育目標(GIO)】

症例に適切な物理療法の立案と実施手続を行うために物理療法の基本操作を理解・実践する。

【テキスト】

坂田多穂監修：『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト
ト：改訂第3版』、南江堂、2021年。

【参考図書】

坂田多穂監修：『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト：
改訂第2版』、南江堂、2013年、Michelle H. Cameron編著、渡部一朗
訳：『EBM物理療法 原著第3版』、医歯薬出版、2015年、柳澤健編
集：『ゴーストマスタース3物理療法学』、MEDICALVIEW、2009年、大塚
彰監修：『学生のための物理療法学』、大学教育出版、2004年

【学生の留意点】

感染対策をお願いします。特に1機路に感染しないよう4人程度の班
で各機路10分程度割り当て実技練習します。使用機器の準備と片付けも
覚えてお手伝いをお願いします。練習の際には半袖、ハーフパンツ、タオル
を持参して下さい。2023年から教科書準拠です。教科書を持参して下さい。
物理療法の禁忌など配慮をしますが行き届かない点もあるためお声掛け
下さい。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

【実務経験のある教員による科目】

当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目として
いる。

【行動目標(SBOs)】

1. 物理療法の生理的作用と適応を説明できる。
2. 物理療法の禁忌と注意事項を説明できる。
3. 基本的な操作を理解し実施できる。
4. 適切なプログラムを実施できる。

【期末試験実施について】

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

【成績評価の方法】

実技試験100%

ルーブリック評価等の確認をお願いします。

試験の際には、ハーフパンツ、タオルを持参して下さい。

【授業計画】

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	坂田	物理療法概論	物理療法の概要
2	講義教室	坂田	物理療法概論	物理療法の概要
3	講義教室	坂田	物理療法概論	物理療法の適応と禁忌：炎症・疼痛ほか
4	講義教室	坂田	物理療法概論	物理療法の適応と禁忌：炎症・疼痛ほか
5	講義教室	坂田	熱（温熱）エネルギー	温熱療法：ホットパック、パラフィンほか 適応および禁忌 治療方法
6	講義教室	坂田	熱（温熱）エネルギー	温熱療法：ホットパック、パラフィンほか 適応および禁忌 治療方法
7	講義教室	坂田	熱（寒冷）エネルギー	アイスバック等実施 適応および禁忌 治療法
8	講義教室	坂田	熱（寒冷）エネルギー	アイスバック等実施 適応および禁忌 治療法
9	講義教室	坂田	水治療法	温熱療法：炭酸浴 寒冷療法：冷水浴 交代浴ほか 適応および禁忌 治療法
10	講義教室	坂田	水治療法	温熱療法：炭酸浴 寒冷療法：冷水浴 交代浴ほか 適応および禁忌 治療法
11	講義教室	坂田	電磁エネルギー	マイクロ波（極超短波）治療 適応および禁忌 治療方法 ※超短波
12	講義教室	坂田	電磁エネルギー	マイクロ波（極超短波）治療 適応および禁忌 治療方法 ※超短波
13	講義教室	坂田	電気エネルギー	電気刺激療法：低周波電気刺激療法ほか 適応および禁忌 治療法
14	講義教室	坂田	電気エネルギー	電気刺激療法：低周波電気刺激療法ほか 適応および禁忌 治療法
15	講義教室	坂田	力学的エネルギー	超音波療法 適応および禁忌 治療方法
16	講義教室	坂田	力学的エネルギー	超音波療法 適応および禁忌 治療方法
17	実技教室	坂田	力学的エネルギー	牽引療法 適応および禁忌 治療方法 CPM療法 適応および禁忌 治療方法
18	実技教室	坂田	力学的エネルギー	牽引療法 適応および禁忌 治療方法 CPM療法 適応および禁忌 治療方法
19	実技教室	坂田	力学的エネルギー	マッサージ・モビライゼーション 適応および禁忌 治療方法
20	実技教室	坂田	力学的エネルギー	マッサージ・モビライゼーション 適応および禁忌 治療方法
21	実技教室	坂田	実技練習	ホットパック、パラフィン、アイスバック、炭酸浴、マイクロ波、低周波電気刺激、超音波、牽引の 実施
22	実技教室	坂田	実技練習	ホットパック、パラフィン、アイスバック、炭酸浴、マイクロ波、低周波電気刺激、超音波、牽引の 実施
23	実技教室	坂田	最新の物理療法を知らう	浜井医療の最新の物理療法の体験機会（ラジオ波）
24	実技教室	坂田	最新の物理療法を知らう	浜井医療の最新の物理療法の体験機会（ラジオ波）
25	実技教室	坂田	最新の物理療法を知らう	浜井医療の最新の物理療法の体験機会（高圧の電気刺激療法）他：衝撃波療法、超音波療法
26	実技教室	坂田	最新の物理療法を知らう	浜井医療の最新の物理療法の体験機会（高圧の電気刺激療法）他：衝撃波療法、超音波療法
27	実技教室	坂田	プログラム立案1と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う
28	実技教室	坂田	プログラム立案2と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う
29	実技教室	坂田	プログラム立案3と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う
30	実技教室	坂田	プログラム立案4と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	日常生活活動論演習										
担当者氏名	中山 雅和										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

理学療法的視点から各疾患の特性を理解し、対象者の日常生活活動を的確に評価できるようになるために、それぞれの個性・多様性を踏まえたADL指導を習得する。

《テキスト》

なし

《参考図書》

奈良勲監修：標準理学療法学専門分野『日常生活活動学・生活環境学第4版』医学書院 2012

伊藤利之著：ADLとその周辺 第3版 医学書院2015

《行動目標(SBOs)》

1. 疾患の特性に応じたADLの特徴、基本動作の方法、リウを述べることができる。
2. 疾患の特性に応じたADLの評価を実施することができる。
3. 対象者の基本動作を力学的視点で分析することができる。
4. 対象者個人にあわせたADL（環境を含む）指導ができる。
5. 疾患の特性を理解した上で、適切な援助方法を（本人及び支援者に）提示できる。

《学生の留意点》

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。
実技の際は動きやすい服装で参加すること、ジーパンやスカートは不可。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

筆記試験70% 実技試験30%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害の特性を理解する】①
2	講義教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害の特性を理解する】②
3	実技教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】①
4	実技教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】②
5	実技教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】③
6	実技教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】④
7	実技教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】⑤
8	実技教室	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】⑥
9	講義教室	中山	疾患別各論	【関節リウマチの疾患特性とADLの実践】①
10	講義教室	中山	疾患別各論	【関節リウマチの疾患特性とADLの実践】②
11	実技教室	岩谷	疾患別各論	【臥位の対応と移乗】①
12	実技教室	岩谷	疾患別各論	【臥位の対応と移乗】②
13	実技教室	岩谷	疾患別各論	【シーティング】①
14	実技教室	岩谷	疾患別各論	【シーティング】②
15	講義教室	中山	疾患別各論	【高齢者の特性とADL指導】

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	義肢装具学										
担当者氏名	小林 規彦、森田 浩章										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

1. 対象者の障害に応じた義肢装具の活用方法を知るために、構造や適合、ならびに義肢装具使用による理学療法を理解する
2. 臨床で義肢装具を活用するために、組立てや調整の技術を得得する

《テキスト》

細田多穂：『義肢装具学テキスト第4版』、南江堂、2025年。

《参考図書》

日本整形外科学会：『義肢装具のチェックポイント第9版』、医学書院、2021年

《行動目標(SBOs)》

1. 義肢装具使用に至る経緯が説明できる。
2. 各義肢装具の名称・パーツ・機能および適応が説明できる。

《学生の留意点》

疾患や障害に対する理解が必要。知識としての理解とともに、理学療法士の技術として修得するよう心掛け理解を深める。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

《成績評価の方法》

装具：筆記試験50%

義肢：小テスト2回25% 課題レポート25%

どちらも60%に満たない場合は、それぞれ再試験となります。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	小林	義肢学	義肢装具学総論
2	講義教室	小林	"	義肢学総論①
3	講義教室	小林	"	義肢学総論②
4	講義教室	小林	"	切断者の評価②
5	講義教室	小林	"	切断者の評価①
6	講義教室	小林	"	断端管理②
7	講義教室	小林	"	断端管理①
8	講義教室	小林	"	前7回の振り返り
9	講義教室	小林	"	足部・足脛手
10	講義教室	小林	"	膝脛手
11	講義教室	小林	"	大腿義足
12	講義教室	小林	"	下腿義足
13	講義教室	小林	"	股・膝・サイム・足部義足
14	講義教室	小林	"	スポーツ・給付制度・その他
15	講義教室	小林	"	義足歩行
16	講義教室	小林	義肢学	前7回の振り返り まとめ
17	講義教室	森田	装具学	下肢装具 総論①
18	講義教室	森田	"	下肢装具 総論②
19	講義教室	森田	"	短下肢装具①
20	講義教室	森田	"	短下肢装具②
21	講義教室	森田	"	長下肢装具・股装具・膝装具①
22	講義教室	森田	"	長下肢装具・股装具・膝装具②
23	講義教室	森田	"	靴型装具①
24	講義教室	森田	"	靴型装具・体幹装具②
25	講義教室	森田	"	下肢装具チェックアウト①
26	講義教室	森田	"	下肢装具チェックアウト②
27	講義教室	森田	"	上肢装具①
28	講義教室	森田	"	上肢装具②
29	講義教室	森田	"	体幹装具①
30	講義教室	森田	"	体幹装具②

【専門分野 理学療法治療学】

科目名	内部系理学療法学										
担当者氏名	林 佑樹, 笠原 西介										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、喜びや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を遂行し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

【一般教育目標(GIO)】

循環器系・呼吸器系・代謝系を中心とする内部疾患を有する対象者の理学療法評価と治療を実施するために、それらの病態・疾患特性を理解したうえで、各理学療法を修得すること。

【テキスト】

高橋哲也編：『最新理学療法学講座 内部疾患理学療法学 第2版』、医歯薬出版、2026年。

【参考図書】

心臓リハビリテーション必修-指導士認定試験準拠一、日本心臓リハビリテーション学会 2011。
千住他監修：『呼吸理学療法標準手技』、医学書院 2008。

【行動目標(SBOs)】

1. 内部疾患対象者の病態・疾患特性を説明できる。
2. 内部疾患対象者の理学療法評価が実施できる。
3. 臨床検査結果・理学療法評価結果を解釈し、根拠を基に対応を判断できる。
4. 内部疾患理学療法を立案できる。
5. 呼吸理学療法手技を実施できる。

【期末試験実施について】

実施する

期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。

【成績評価の方法】

筆記試験70%、実技試験30%の合計で60%未満の場合は再試験を課す。
筆記試験はA4用紙1枚手書きの資料のみ持ち込み可とする。

【学生の留意点】

臨床医学の中核をなす内部疾患を理解することは、他のリハビリテーション適応疾患や障害に対する理学療法を発展させる基礎になります。重要な項目を授業で取り上げ、主体的に学習することを求めます。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

【実務経験のある教員による科目】

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

【授業計画】

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器の解剖生理学、血液ガスの解釈
2	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器の解剖生理学、血液ガスの解釈
3	実技教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸機能評価：フィジカルアセスメント、スパイロメトリー、フローボリューム曲線
4	実技教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸機能評価：フィジカルアセスメント、スパイロメトリー、フローボリューム曲線
5	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器不全の病態、呼吸器疾患：慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺動脈性肺炎
6	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器不全の病態、呼吸器疾患：慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺動脈性肺炎
7	実技教室	林	呼吸機能障害と理学療法	急性呼吸不全・慢性呼吸不全：人工呼吸器、酸素療法
8	実技教室	林	呼吸機能障害と理学療法	急性呼吸不全・慢性呼吸不全：人工呼吸器、酸素療法
9	実技教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸リハビリテーション：コンディショニング、呼吸介助法、排痰手技
10	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸リハビリテーション：コンディショニング、呼吸介助法、排痰手技
11	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	症例検討
12	講義教室	林	呼吸機能障害と理学療法	症例検討
13	実技教室	林	循環機能障害と理学療法	循環機能評価、フィジカルアセスメント
14	実技教室	林	循環機能障害と理学療法	循環機能評価、フィジカルアセスメント
15	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	心電図
16	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	心電図
17	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	運動生理学評価
18	実技教室	林	循環機能障害と理学療法	運動生理学評価
19	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	虚血性心疾患
20	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	虚血性心疾患
21	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	心不全
22	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	心不全
23	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	閉塞性動脈硬化症
24	講義教室	林	循環機能障害と理学療法	閉塞性動脈硬化症
25	講義教室	笠原	循環機能障害と理学療法	症例検討
26	講義教室	笠原	循環機能障害と理学療法	症例検討
27	講義教室	林	代謝障害と理学療法	糖尿病
28	講義教室	林	代謝障害と理学療法	糖尿病
29	講義教室	林	代謝障害と理学療法	慢性腎臓病
30	実技教室	林	代謝障害と理学療法	慢性腎臓病

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅱ										
担当者氏名	中村 壮太										
授業方法	実習	単位数	3	回数	-	時間数	135	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

診療参加型実習の中で多くの診療場面を見学、協同参加、実施しながら、理学療法プロセス（臨床思考過程）を包括的に学ぶことを目的に、理学療法士および医療専門職として適切な態度や行動（立ち居振る舞い）を身につける。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

指定なし。

《行動目標(SBOs)》

- 1.基本的な評価手技が実施できる。
- 2.検査結果の解釈・関連性を述べることができる。
- 3.基本動作の介助が行える。
- 4.問題点抽出・目標設定・治療プログラム立案を行える。
- 5.リエンションを実施できる。
- 6.対象者や臨床実習指導者・スタッフに対して適切な人間関係を構築することができる。

《学生の留意点》

《期末試験実施について》

実施しない

《実務経験のある教員による科目》

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

当該分野における理学療法士が、その実務経験を活かした科目となっている。

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「合」・「否」の2段階

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1				・夜間部：3年次 2月の3週間（45h*3） ・診療参加型臨床実習教育。
2				・実習指導者に帯同し、業務の周辺より参加させていただく。
3				・対象者への侵襲程度が低いレベルから、徐々に、情報収集、検査測定、臨床推論、治療プログラム立案の一連の評価過程を実習する。
4				・教育評価はOSCEを実習前に実施し、実習の成果を実習後、評価する。
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	問題解決のための研究法										
担当者氏名	沼尾 拓										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									○
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

生涯にわたって科学的、論理的思考力を発展し続ける自己調整学習の習慣を養成するために、問題解決のための研究法を理解する。

《テキスト》

対馬栄輝：『最新理学療法学講座 理学療法研究法』。医歯薬出版、2021年

《参考図書》

《行動目標(SBOs)》

- ・医学統計学の基本を理解する。
- ・EBMの手法を活用できる。
- ・研究的疑問の明確化の方法を説明できる。
- ・研究計画書を作成できる。

《学生の留意点》

1年次の「情報社会と情報リテラシー」の授業を基礎として進めていく授業になりますので前もって復習してから望みましょう。授業時間枠だけでは学習時間が不足しますので、課外においてもグループ学習に努めるましょう。
各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

課題100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は沼尾（理学療法士）が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	沼尾	オリエンテーション	プロフェッショナルとは・研究の必要性・EBPTとは・研究から発表までの流れ
2	講義教室	沼尾	研究倫理	研究倫理 IC 個人情報保護 利益相反
3	講義教室	沼尾	文献レビュー	文献（先行研究）とは PICO (Clinical Question) クリティカルリーディング バイアス
4	講義教室	沼尾	研究の質・種類	各種研究デザイン（課題提出）
5	講義教室	沼尾	統計1	基本統計量・差の検定・相関・回帰分析
6	講義教室	沼尾	統計2	正規分布に従わない場合の統計・多変量解析
7	講義教室	沼尾	研究課題の設定	文献（先行研究）レビューの実際 PICO (Research Question)
8	講義教室	沼尾	研究課題の設定	Research Question作成 課題提出
9	講義教室	沼尾	研究計画 1	研究計画書とは
10	講義教室	沼尾	研究計画 2	研究計画書作成 課題提出
11	講義教室	沼尾	研究計画発表	グループ内デザイン発表
12	講義教室	沼尾	研究計画修正	グループでの計画修正
13	講義教室	沼尾	発表準備	発表資料作成 課題提出
14	講義教室	沼尾	発表	発表 課題提出
15	講義教室	沼尾	まとめ	

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	生命倫理学										
担当者氏名	小川 文子										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

医療者として必須の生命倫理学を修得するために、生命にまつわる倫理を問い直し、生命の尊厳について考えるとともに、専門家としての責任や職業倫理について学ぶこと。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

必要に応じて、参考文献を紹介する。また、関連する小説、漫画、映画などのメディアも適宜案内する。

《行動目標(SBOs)》

- 1.生命倫理学の基礎概念について学ぶ。
- 2.生命倫理の問題について、多角的に考えることができる。
- 3.生命倫理の問題について、自らの言葉で討論できる。

《学生の留意点》

現代社会では倫理的関心は昨今高まる一方であり、科学や医療技術の進歩によって、従来はなかったような新たな倫理的問題が生じている。そこで、生命にまつわる倫理を改めて問い直すことは、医療や福祉の専門家として重要である。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、哲学や倫理学が専門の講師が担当し、現場の医療者に寄り添った内容を教授する。

《期末試験実施について》

実施する

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

期末筆記試験60点： 知識問題30点+論述15点×2題

リアクションペーパー40点： 5点(提出2点+内容3点)×8回

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	小川	イントロダクション	倫理とは何か
2	講義教室	小川	生命倫理の基本	生命倫理とは何か
3	講義教室	小川	移植医療	脳死と臓器移植、ディスカッション①
4	講義教室	小川	患者医療者関係①	臨床倫理と医療におけるコミュニケーション
5	講義教室	小川	患者医療者関係②	自己決定権はどこまで許容されるのか、ディスカッション②
6	講義教室	小川	誕生をめぐる倫理①	生殖補助医療
7	講義教室	小川	誕生をめぐる倫理②	人工妊娠中絶と胎児の権利、ディスカッション③
8	講義教室	小川	最先端医療①	遺伝子・ゲノム医療と再生医療
9	講義教室	小川	最先端医療②	生命操作とロボット技術、ディスカッション④
10	講義教室	小川	終末をめぐる倫理①	安楽死と尊厳死
11	講義教室	小川	終末をめぐる倫理②	ドキュメンタリー作品『彼女は安楽死を選んだ』鑑賞、ディスカッション⑤
12	講義教室	小川	終末をめぐる倫理③	高齢者と認知症
13	講義教室	小川	終末をめぐる倫理④	エンドオブライフ・ケア、ディスカッション⑥
14	講義教室	小川	ノーマライゼーション	障害と医療
15	講義教室	小川	職業倫理	コンプライアンス、プロフェッショナリズム、行動規範の確認

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	アントレプレナーシップ入門										
担当者氏名	中山 雅和										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

医療福祉分野の「社会課題」と「自分らしさを活かす」観点から理学療法士としての新たな社会的価値を創出するために、そのマインドや意欲、アイデアを育成し、創業を概観すること。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

独立行政法人中小企業基盤整備機構「令和版 夢を実現する創業」、2023年。

《行動目標(SBOs)》

- 1.創業の現代的意義を説明できる。
- 2.創業に必要な基礎知識を理解できる。
- 3.事業計画書を作成できる。

《学生の留意点》

理学療法士の職域を拡大し、社会貢献に寄与する新たなアイデアを求める。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

ワークシート75%，成果物25%。ワークシートは毎回（5%）提出していただく。成果物は自身もしくはグループによる「事業計画書」を作成し提出すること

《実務経験のある教員による科目》

本講座は、実務経験のある理学療法士、公認会計士によって展開される。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	中山	オリエンテーション	理学療法士とアントレプレナーシップ
2	講義教室	中山	創業までのステップ	創業までのステージを概観
3	講義教室	外部	事例①	リハ専門職による創業事例紹介
4	講義教室	中山	アイデアをまとめる	「自分のニーズに目を向ける」，「社会のニーズに目を向ける」
5	講義教室	中山	事業計画の作成	事業計画とは
6	講義教室	中山	人・物・金の準備	採用？ 必要な物？ 資金？
7	講義教室	中山	創業手続きを行う	書類作成とその提出
8	講義教室	中山	事業計画書の作成①	ワーク 事業内容，数値計画の作成
9	講義教室	中山	事業を始める①	集客・販促のやり方
10	講義教室	中山	事業を始める②	人事・労務の実務
11	講義教室	中山	事業を始める③	会計・経理の実務，税務の実務
12	講義教室	中山	事業計画書の作成②	ワーク 損益計算書の作成
13	講義教室	濱野	事例②	会計事務所の立場から
14	オンデマンド	外部	事例③	事例紹介
15	講義教室	中山	まとめ	発表 「私の創業計画」

科目名	現代社会と社会保障										
担当者氏名	渋川 智明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

社会保障制度を構成する公的扶助、福祉、社会保険制度などの政策理念、機能など具体的施策の内容を理解するために、現代社会の少子高齢化や財政的課題について、英国など先進諸国制度とも比較・検証し、安定的な制度設計を考察する。

《テキスト》

椋野美智子・田中耕太郎：『はじめての社会保障～福祉を学ぶ人へ』、有斐閣アルマ、2026年（第23版）

《参考図書》

必要に応じて提示する。

《行動目標(SBOs)》

- 1) 社会保障制度の柱である介護・医療保険・年金・雇用保険などの保険制度の枠組みを説明できる。
- 2) 公的扶助、児童福祉、障害福祉の制度設計の基礎になっている財政(税)と社会保険制度(保険料プラス税)の基盤的相違、現状を説明できる。
- 3) 地域包括ケアシステムを理解し、医療と介護の連携、直面している課題・問題を説明できる。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

提出課題 100%

最終講義で課すレポートを中心に評価、1～14回の課題も評価の対象とします。

《学生の留意点》

テーマ内容について、テキスト、参考書及び関連資料・文献等を基に事前学習をする調査・分析作業を導入します。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

本科目は、社会保障制度に熟知した講師が担当し、その実務経験を生かした講義内容としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	渋川	ガイダンスー社会保障制度とは	欧米の現行社会保障制度の現状の中で、日本の社会保障制度の位置づけと、提供するサービスがどのように機能し、またどのような課題を抱えているのかを概説する。
2	講義教室	渋川	社会保障の概念整理	サービスの形態と社会のセーフティネットとしての社会保障の役割、日本国憲法、基本的人権に基づく扶助、社会福祉と社会保険の理論と定義の概念整理。
3	講義教室	渋川	社会保障の歴史	エリザベス1世の救貧論から産業革命を経てドイツの社会保険論へ、日本の社会保障における慈善、社会事業家論からナショナルミニマム、戦後の国民皆保険論まで。
4	講義教室	渋川	社会福祉①扶助	扶助(生活保護)、児童、母子、高齢者福祉。
5	講義教室	渋川	社会福祉②障害福祉	障害者総合支援制度と障害程度区分の導入、3障害の一体的支援。
6	講義教室	渋川	社会福祉③障害福祉	在宅、施設サービスの多様化と自立支援、措置制度による提供サービスから契約制度への移行と就労支援。
7	講義教室	渋川	公的医療保険制度①制度の概要	国民健康保険制度と被用者保険制度、保険者と被保険者の概念整理、償還払い制度と診療報酬、給付と自己負担。
8	講義教室	渋川	公的医療保険制度②保険給付	保険適用の医療保険給付サービスと、保険外自由診療、混合診療。
9	講義教室	渋川	公的医療保険制度③医療提供体制	診療所と病院の機能分化と体系化。
10	講義教室	渋川	公的医療保険制度と公的介護保険制度の連携	カルテ開示、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、訪問看護・リハビリ医療と介護の連携、地域包括ケア。
11	講義教室	渋川	公的介護保険制度①制度概要	保険者と被保険者の保険料、要介護認定制度、財政基盤の課題。
12	講義教室	渋川	公的介護保険制度②保険給付	施設・在宅、地域密着型介護保険給付サービスと、要支援者の総合支援、提供体制・事業者。
13	講義教室	渋川	公的年金制度①制度概要	保険者と被保険者、国民年金、厚生年金の仕組み、基礎年金の保険料と公費拠出、強制加入と猶予・免除制度。
14	講義教室	渋川	公的年金制度②老齢年金	老齢年金の支給開始と繰り上げ・繰り下げ支給、障害年金、遺族年金、給付と負担のバランスと賦課方式の課題。
15	講義教室	渋川	雇用保険、労働災害者保険とまとめ	派遣、非正規雇用と保険・補償。まとめとして、日本の社会保障制度の制度改革論争の検証、社会保障の安定的かつ持続的運営システムに関する提言と今後の展望。以上。

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	精神医学概論										
担当者氏名	河野 達哉										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

精神疾患のある対象者を的確に理解し、理学療法へ展開するために、主な精神障害および疾病の症状、それに対する一般的な治療について学ぶ。

《テキスト》

上野 武治：『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版増補版』、医学書院。

《参考図書》

尾崎 紀夫：『標準精神医学 第9版』、医学書院、2023
大熊 輝雄：『現代臨床精神医学改訂第12版』、金原出版株式会社、2013

《行動目標(SBOs)》

1.精神医学の定義と関連領域について説明できる。2.精神障害および精神障害者に関する概念について説明できる。3.精神障害の成因と分類について説明できる。4.精神障害の際に出現する精神症状について説明できる。5.主な疾患についての診断と評価、治療について説明できる。6.精神障害者が利用できる精神医療・福祉制度について説明できる。

《学生の留意点》

授業形態はオンデマンド型です。 毎回の課題提出によって出席とします。 各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

《実務経験のある教員による科目》

当該分野におけるセラピストとしての実務の経験を、精神医学の基礎という観点から授業内容に生かした科目としている。

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

期末試験（筆記試験）70%
課題提出30%
総合して60%満たない場合は再試験対象となる

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	オンデマンド	河野	総論	精神医学とは・精神障害の成因と分類
2	オンデマンド	河野	〃	精神機能の障害と精神症状 当事者が語る症状とは 動画みて感じる。
3	オンデマンド	河野	〃	精神障害の診断と評価 診断の手順はあるのか、病識がないとは何か、
4	オンデマンド	河野	各論	脳器質性精神障害 認知症 てんかん
5	オンデマンド	河野	〃	症状性精神障害・精神作用物質
6	オンデマンド	河野	〃	統合失調症（1）
7	オンデマンド	河野	〃	統合失調症（2） 気分（感情）障害
8	オンデマンド	河野	〃	気分（感情）障害
9	オンデマンド	河野	〃	神経症性障害（不安症・強迫症・解離症・身体症状症他）
10	オンデマンド	河野	〃	パーソナリティ障害 摂食障害
11	オンデマンド	河野	〃	心理的発達障害 知的能力障害 自閉スペクトラム症
12	オンデマンド	河野	〃	心理的発達障害 注意欠如・多動症 児童の不安症 アタッチメントの障害
13	オンデマンド	河野	〃	精神障害者の雇用促進と就労支援
14	オンデマンド	河野	〃	精神保健医療福祉の制度
15	オンデマンド	河野	〃	精神障害リハビリテーション 薬物療法

《専門基礎分野 保健医療福祉とリハビリテーションの理念》

科目名	保健医療福祉連携論										
担当者氏名	中山 雅和										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									○
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

保健/医療/福祉の現場におけるチームワークの構築/目標達成のため、多職種連携とそのコンピテンシーを修得する。

《テキスト》

なし。

《参考図書》

はじめてのIP・連携を学びはじめる人のためのIP入門/大嶋伸雄

《行動目標(SBOs)》

- 1 連携の必要性について説明できる。
- 2 多職種の仕事とその専門性について説明できる。
- 3 チーム医療の中の理学療法士の専門性について説明できる。
- 4 各病期の多職種連携について説明できる。
- 5 多職種と連携し事例について最適な関わりを想定することができる。

《学生の留意点》

授業内でグループワークを行うため、積極的な参加を期待します。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした授業としている。

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

毎回の課題100%

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	木下	オリエンテーション・総論 (10/28)	IPW (IPW) とは
2	講義教室	木下	連携の準備 (11/4)	アイスブレイク
3	講義教室	中山	専門性の理解 (11/4)	他の専門職とその専門性を理解する
4	講義教室	木下	チームワークの成り立ち (11/11)	チームビルディングの基礎
5	講義教室	木下	IPWに必要なコミュニケーション能力 シミュレーション能力 (11/11)	多職種連携に必要なコミュニケーション能力
6	講義教室	中山	チームと連携の為の一般知識 (11/18)	チームと連携の為の一般知識
7	講義教室	中山	ワークショップ① (11/18)	理学療法学生との事例検討①
8	講義教室	木下	ワークショップ② (11/25)	理学療法学生との事例検討②
9	講義教室	木下	ワークショップ③ (11/25)	理学療法学科学生との事例検討③
10	講義教室	黒野	臨床におけるIPW① (12/2)	専門作業療法士によるIPE実践の紹介、ワークショップ
11	講義教室	坂本	臨床におけるIPW① (12/2)	専門家理学療法士によるIPE実践の紹介、ワークショップ
12	講義教室	中山 木下	ワークショップ⑤ (12/9)	看護学科・理学療法学科学生との事例検討① ※日中を予定
13	講義教室	中山 木下	ワークショップ⑥ (12/9)	看護学科・理学療法学科学生との事例検討② ※日中を予定
14	講義教室	中山 木下	リフレクション (12/16)	リフレクション
15	講義教室	中山 木下	まとめ (12/16)	まとめ

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅳ										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅲ（インターン実習）の目標を達成するために、検査測定技術、治療技術や臨床推論についての振り返りを行う。更に、臨床実習Ⅲについて振り返り、各々の課題を見つけることができ、理学療法士として働くまでに学習すべき内容と学習プランを挙げられる。

《テキスト》

適宜資料を配布する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《行動目標(SBOs)》

- 1.臨床実習Ⅲ（インターン実習）の目的を説明できる。
- 2.基本的な「検査測定」を実施できる。
- 3.基本的な「治療」を実施できる。
- 4.検査測定結果の解釈や統合が実施できる。
- 5.動作観察と分析が実施できる。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

実技試験100%

《学生の留意点》

臨床の場で行う実践演習であることを自覚し、主体的な学びを心がけること授業時間外の復習によってその成果が大きく左右されますので、積極的な取り組みを期待します。
各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	長屋	理学療法検査測定	基本動作介助/バイタルサイン/四肢長周径
2	実技教室	長屋	理学療法検査測定	ROMT/MMT/神経学的検査
3	実技教室	長屋	理学療法検査測定	対象者を想定し一連の流れの中で検査測定を実施
4	実技教室	長屋	理学療法プロセス（臨床思考過程）	情報収集/問題点抽出/目標設定/プログラム立案
5	実技教室	長屋	理学療法プロセス（臨床思考過程）	情報収集/問題点抽出/目標設定/プログラム立案
6	実技教室	長屋	治療プログラム	機能障害（関節可動域拡大/筋力増強など）
7	実技教室	長屋	治療プログラム	動作（基本動作練習/筋力増強など）
8	実技教室	長屋	治療プログラム	運動器疾患の理学療法プログラム
9	実技教室	長屋	治療プログラム	中枢神経疾患の理学療法プログラム
10	実技教室	長屋	治療プログラム	対象者を想定し一連の流れの中で検査測定・治療プログラムを実施
11	講義教室	長屋	実習オリエンテーション	臨床実習Ⅲの目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
12	講義教室	長屋	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例の記録（カルテ）」の書き方 ～SOAPを深める～
13	講義教室	長屋	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例のまとめ」書き方 ～統合と解釈/治療の考察～
14	実技教室	長屋	理学療法検査測定・治療技術の確認（実技試験）	検査測定・治療技術の確認とフィードバック
15	実技教室	長屋	理学療法検査測定・治療技術の確認（実技試験）	検査測定・治療技術の確認とフィードバック

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅴ										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習で学んだ具体的な事例を知識として確認することができるようになる。

《テキスト》

《参考図書》

国試の達人
クエスチョン・バンク
必修ポイント
PT・OT国家試験共通問題 できるもん・でたもん

《行動目標(SBOs)》

- 1.基礎医学・臨床医学・理学療法の知識を確認・説明できる。
- 2.基礎医学・臨床医学・理学療法の知識の臨床応用を説明できる。

《学生の留意点》

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施する

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

筆記テスト100% (小テスト・まとめテストに配分していく)
60%に満たない場合、再試験対象とする。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	長屋	小テスト・復習GW①	解剖生理
2	講義教室	長屋	小テスト・復習GW②	運動学
3	講義教室	長屋	小テスト・復習GW③	臨床医学(骨関節障害)
4	講義教室	長屋	小テスト・復習GW④	臨床医学(神経障害・神経筋障害)
5	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑤	臨床医学(内部障害)
6	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑥	臨床医学(精神医学)
7	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑦	臨床医学(臨床心理学)
8	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑧	専門問題開始 ROM・MMT
9	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑨	中枢神経障害 評価と治療
10	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑩	整形外科 評価と治療
11	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑪	神経筋障害 評価と治療
12	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑫	内部障害 評価と治療
13	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑬	脊髄損傷および小児 評価と治療
14	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑭	基礎理学療法学、物理療法、ADL、義肢装具学
15	講義教室	長屋	小テスト・復習GW⑮	総まとめ

《専門分野 理学療法管理学》

科目名	理学療法管理学										
担当者氏名	小宮山 一樹										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

社会から求められる理学療法を提供し続けるために、理学療法士として職場管理において求められる管理業務や理学療法士教育の基本について学ぶ。

《テキスト》

なし

《参考図書》

斎藤秀之、能登真一編集「リハビリテーション管理学」、医学書院
2020年。
斎藤昭彦、下田信明編集「リハビリテーション管理学」、羊土社
2020年。

《行動目標(SBOs)》

1. 管理学の定義や位置づけを説明できる。
2. 働きやすい職場、働きがいのある職場について説明できる。
3. セルフマネジメントの重要性について説明できる。
4. リスクマネジメントについて説明できる。
5. 管理職の業務について説明できる。
6. 動機付け理論について説明できる。
7. 目指すべき職場像について記述できる。

《期末試験実施について》

実施しない

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

確認テスト40%・提出課題60% 合計で60%に満たない場合は再試験対象とする。

《学生の留意点》

理学療法士を業として生活するために、また組織として理学療法士が社会に貢献するために、必要な知識を学ぶ科目です。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

本科目は理学療法士が担当し、その実務経験から臨床現場に即した授業を展開します。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	小宮山	管理学とは	管理学を学ぶ意味 管理学とは 運営とは 組織とは
2	講義教室	小宮山	理想の職場	働きやすい、働きがいのある職場とは。
3	講義教室	小宮山	セルフマネジメント	セルフマネジメントの重要性と方法を学ぶ。
4	講義教室	小宮山	リスクマネジメント	リスクマネジメントとKYTトレーニング演習。
5	講義教室	小宮山	理想の上司	管理職の業務について学ぶ。理想の上司像とは。
6	講義教室	小宮山	組織マネジメント	病院組織、理学療法士組織のマネジメントについて学ぶ。
7	講義教室	小宮山	オーナーシップと動機付け	オーナーシップを育むには、動機付け理論について学ぶ。
8	講義教室	小宮山	知識のまとめ①	管理学に関する国家試験研究。グループワークと個人課題。
9	講義教室	小宮山	知識のまとめ②	管理学に関する国家試験研究。個人課題の共有。
10	講義教室	朝日	管理の実践①	国立病院機構における理学療法管理者の実践。
11	講義教室	朝日	管理の実践②	国立病院機構における理学療法管理者の実践。
12	講義教室	小宮山	知識のまとめ③	確認テストとフィードバック。
13	講義教室	小宮山	ワーク① 理想の職場を創ろう	理学療法室の立ち上げシュミレーション演習
14	講義教室	小宮山	ワーク② 理想の職場を創ろう	理学療法室の立ち上げシュミレーション演習
15	講義教室	小宮山	ワーク③ 理想の職場を創ろう	発表

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	義肢装具学演習										
担当者氏名	小林 規彦、森田 浩章										
授業方法	実技	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									○
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

- 義肢装具を使用した理学療法を理解するために、模擬体験を通し知識・技術を身に付ける。
- 義肢装具の材料や機能を理解するために、模擬的な制作過程を実施する。

《テキスト》

細田多徳：『義肢装具学テキスト第4版』，南江堂，2025年。

《参考図書》

日本整形外科学会：『義肢装具のチェックポイント第9版』，医学書院，2021年

《行動目標(SBOs)》

- 義肢装具使用時における諸問題を説明できる。
- 各義肢装具の選択・チェックアウトができる。

《学生の留意点》

理学療法における治療法の1つとして装具を用いることができるように知識だけでなく、装着しながら慣れる。

同様に、義肢装着者に対する理学療法全般を経験とともに知識や技術を定着するよう取り組む。

各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業としている。

《期末試験実施について》

実施しない

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

装具：筆記試験+授業内課題 50%

義肢：課題3題 50%

どちらも60%に満たない場合は、それぞれ再試験となります。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	小林	義肢学	断端管理法
2	講義教室	小林	義肢学	大腿義足ソケットの特徴②
3	講義教室	小林	義肢学	大腿義足ソケットの特徴①
4	講義教室	小林	義肢学	下腿義足・大腿義足歩行
5	講義教室	小林	義肢学	下腿義足・大腿義足の異常歩行
6	講義教室	小林	義肢学	下腿義足・大腿義足のアライメント
7	講義教室	小林	義肢学	義手の構造・理学療法の流れ・ADL
8	講義教室	森田	装具学	
9	講義教室	森田	装具学	長下肢装具・短下肢装具①
10	講義教室	森田	装具学	長下肢装具・短下肢装具②
11	講義教室	森田	装具学	股装具・膝装具①
12	講義教室	森田	装具学	股装具・膝装具②
13	講義教室	森田	装具学	体幹装具・上肢装具①
14	講義教室	森田	装具学	体幹装具・上肢装具②
15	講義教室	森田	装具まとめ	まとめ、試験説明

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	高齢期理学療法学										
担当者氏名	中村 壮大										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人								
		DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人								○
		DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人								
		DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人								

《一般教育目標(GIO)》

地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を理解し、高齢者を対象とした理学療法評価や治療立案を実施できるようにするために、高齢者の特性を理解し、各種トレーニングに関する理解を深める。また、行動科学理論に基づいた健康支援（健康増進、疾病予防）を実施できるようになるために、行動科学理論や行動変容技法について理解を深める。

《行動目標(SBOs)》

- 1) 高齢者に対する筋力、バランス、持久力・歩行など各種トレーニングや、転倒骨折予防などについて説明できる。
- 2) 行動科学理論や行動変容技法について説明できる。

《期末試験実施について》

実施する

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

期末試験（筆記試験100％）

《テキスト》

授業の中で資料を配布する。

《参考図書》

- 1) 島田祐之：高齢者理学療法学，医歯薬出版株式会社，2017.
- 2) 奈良勲：関節可動域，運動と医学の出版社，2023.
- 3) 高齢者理学療法学テキスト，南江堂
- 4) 老人のリハビリテーション，医学書院

《学生の留意点》

・医療における臨床や地域における介護予防において、高齢者を対象とした場面は非常に多く、理学療法の知識とスキルはとても役立ちます。

・高齢者の特性を理解し、また高齢者特有の疾患を理解すると共に、それらの評価や理学療法について習得することは重要です。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	実技教室	中村	高齢者の特徴①	老年症候群,フレイル,サルコペニア,他
2	実技教室	中村	高齢者の特徴②	低栄養,尿失禁,摂食嚥下障害,他
3	実技教室	中村	加齢に伴う変化①	生理機能の変化
4	実技教室	中村	加齢に伴う変化②	体力の変化
5	実技教室	中村	加齢に伴う変化③	姿勢・歩行機能の変化
6	実技教室	中村	加齢に伴う変化④	精神・心理機能の変化
7	実技教室	中村	高齢者の身体機能評価	筋,運動機能,姿勢,歩行機能の評価,他
8	実技教室	中村	高齢者のADL、生活機能評価	ADL評価,生活機能評価,他
9	実技教室	中村	理学療法のエビデンス	高齢者に対する理学療法のエビデンス
10	実技教室	中村	行動科学に基づいた健康支援①	健康増進,疾病予防と行動科学
11	実技教室	中村	行動科学に基づいた健康支援②	行動科学の基礎となる心理学の理論
12	実技教室	中村	行動科学に基づいた健康支援③	動機づけ理論
13	実技教室	中村	行動科学に基づいた健康支援④	健康支援に対する行動変容技法の活用
14	実技教室	中村	行動科学に基づいた健康支援⑤	個人の健康支援に対する行動科学的アプローチ
15	実技教室	中村	行動科学に基づいた健康支援⑥	集団の健康支援に対する行動科学的アプローチ

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	理学療法技術論										
担当者氏名	複数外来講師										
授業方法	実技	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

社会で求められる理学療法技術を習得するために、最先端の理学療法技術を学ぶ。

《テキスト》

資料があれば、授業の中で配布する。

《参考図書》

授業中に提示する。

《行動目標(SBOs)》

各テーマの理学療法技術について、体験できる。

《学生の留意点》

特に指定がない限り、実技練習ができる服装で参加すること。各回の受講に際し、十分な予習・復習を行うこと。

《期末試験実施について》

実施しない

《実務経験のある教員による科目》

実務経験がある理学療法士が担当する。

(※期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。)

《成績評価の方法》

毎回のリフレクションシートによって評価する(100%)。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1	講義教室	外来講師	疼痛①	急性疼痛に対する理学療法
2	講義教室	外来講師	疼痛②	慢性疼痛に対する理学療法
3	実技教室	外来講師	気道吸引①	気道吸引
4	実技教室	外来講師	気道吸引②	気道吸引
5	実技教室	外来講師	P N F ①	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
6	実技教室	外来講師	P N F ②	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
7	実技教室	外来講師	P N F ③	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
8	実技教室	外来講師	P N F ④	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
9	実技教室	外来講師	ロボットリハビリテーション①	ロボットリハビリテーション
10	実技教室	外来講師	ロボットリハビリテーション②	ロボットリハビリテーション
11	実技教室	外来講師	バラスポーツ①	バラスポーツの歴史
12	実技教室	外来講師	バラスポーツ②	バラスポーツ実技
13	講義教室	外来講師	精神疾患①	精神疾患に対する理学療法(細井)
14	講義教室	外来講師	精神疾患①	精神疾患に対する理学療法(細井)
15	講義教室	外来講師	がんのリハビリテーション①②	がんのリハビリテーションにおける理学療法(市川)

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅲ-A										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	実習	単位数	7	回数	-	時間数	315	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅲは、これまでに学内教育および臨床見学実習、臨床実習Ⅰ・Ⅱを通して学んだ各理学療法の理論と実践を最終的に統合し、学習する機会となる。診療参加型臨床実習の中で多くの診療場面を見学、協同参加、実施しながら、理学療法プロセス（臨床思考過程）、治療の実施、治療効果判定等を包括的に学ぶ。特に経験症例のまとめでは理学療法プロセスを中心にまとめをおこなう。

《行動目標(SBOs)》

1.検査結果の解釈を具体的に述べるができる。2.基本動作の介助が行える。3.対象者に合った問題点抽出・目標設定・プログラム立案を行える。4.治療プログラムを実施・変更できる。5.対象者に対し検査測定や治療に関する介入を実施できる。6.対象者や臨床実習指導者・スタッフに対して適切な人間関係を構築することができる。7.基本的医療コミュニケーションを実践できる。

《期末試験実施について》

実施しない

（*期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「優」・「良」・「可」・「不可」の4段階で行います。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				・夜間部：4年次 4～6月の7週間（45h*7） ・診療参加型臨床実習教育。
8				・実習指導者に帯同し、業務の周辺より参加させて頂く。
9				・対象者への侵襲程度が低いレベルから、徐々に、情報収集、検査測定、臨床推論、治療プログラム立案の一連の評価過程を実習する。
10				・教育評価はOSCEを実習前に実施し、実習の成果を実習後、評価する。
11				
12				
13				
14				
15				

《テキスト》

《参考図書》

《学生の留意点》

臨床現場でのマナールールに従い、プロフェッショナルな行動で臨むこと。また、臨床実習指導者の指導内容を理解し、自ら学習する意欲及び積極性を持ち、協力していただける対象者様の為にも十分な予習・復習を行うこと。

時間を作ってご指導いただけるスタッフの方々、関連する方々に感謝をもって関わること。

《実務経験のある教員による科目》

現場での経験及び指導に経験のある理学療法士の方々にご指導を受ける事となります。

チーム医療を学ぶ意味で様々な方からご指導をいただけます。

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅲ-B										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	実習	単位数	7	回数	-	時間数	315	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅲは、これまでに学内教育および臨床見学実習、臨床実習Ⅰ・Ⅱを通して学んだ各理学療法理論と実践を最終的に統合し、学習する機会となる。診療参加型臨床実習の中で多くの診療場面を見学、協同参加、実施しながら、理学療法プロセス（臨床思考過程）、治療の実施、治療効果判定等を包括的に学ぶ。特に経験症例のまとめでは治療プログラムの実施を中心にまとめをおこなう。

《行動目標(SBOs)》

1.検査結果の解釈を具体的に述べる事ができる。2.基本動作の介助が行える。3.対象者に合った問題点抽出・目標設定・プログラム立案を行える。4.治療プログラムを実施・変更できる。5.対象者に対し検査測定や治療に関するコミュニケーションを実施できる。6.対象者や臨床実習指導者・スタッフに対して適切な人間関係を構築することができる。7.基本的医療コミュニケーションを実践できる。

《期末試験実施について》

実施しない

（＊期末試験を実施する科目については、試験未受験の場合、評価を受けることができない。）

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポート

フォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「優」・「良」・

「可」・「不可」の4段階で行います。

《授業計画》

回	使用教室	担当者	テーマ	学習内容
1				
2				
3				・夜間部：4年次 6～7月の7週間（45h*7） ・診療参加型臨床実習教育。
4				・実習指導者に帯同し、業務の周辺より参加させて頂く。
5				・対象者への侵襲程度が低いレベルから、徐々に、情報収集、検査測定、臨床推論、治療プログラム立案の一連の評価過程を実習する。
6				・教育評価はOSCEを実習前に実施し、実習の成果を実習後、評価する。
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《テキスト》

《参考図書》

《学生の留意点》

臨床現場でのマナールールに従い、プロフェッショナルな行動で臨むこと。また、臨床実習指導者の指導内容を理解し、自ら学習する意欲及び積極性を持ち、協力していただける対象者様の為にも十分な予習・復習を行うこと。

時間を作ってご指導いただけるスタッフの方々、関連する方々に感謝をもって関わること。

《実務経験のある教員による科目》

現場での経験及び指導に経験のある理学療法士の方々にご指導を受ける事となります。

チーム医療を学ぶ意味で様々な方からご指導をいただけます。